古刀銘盡大全

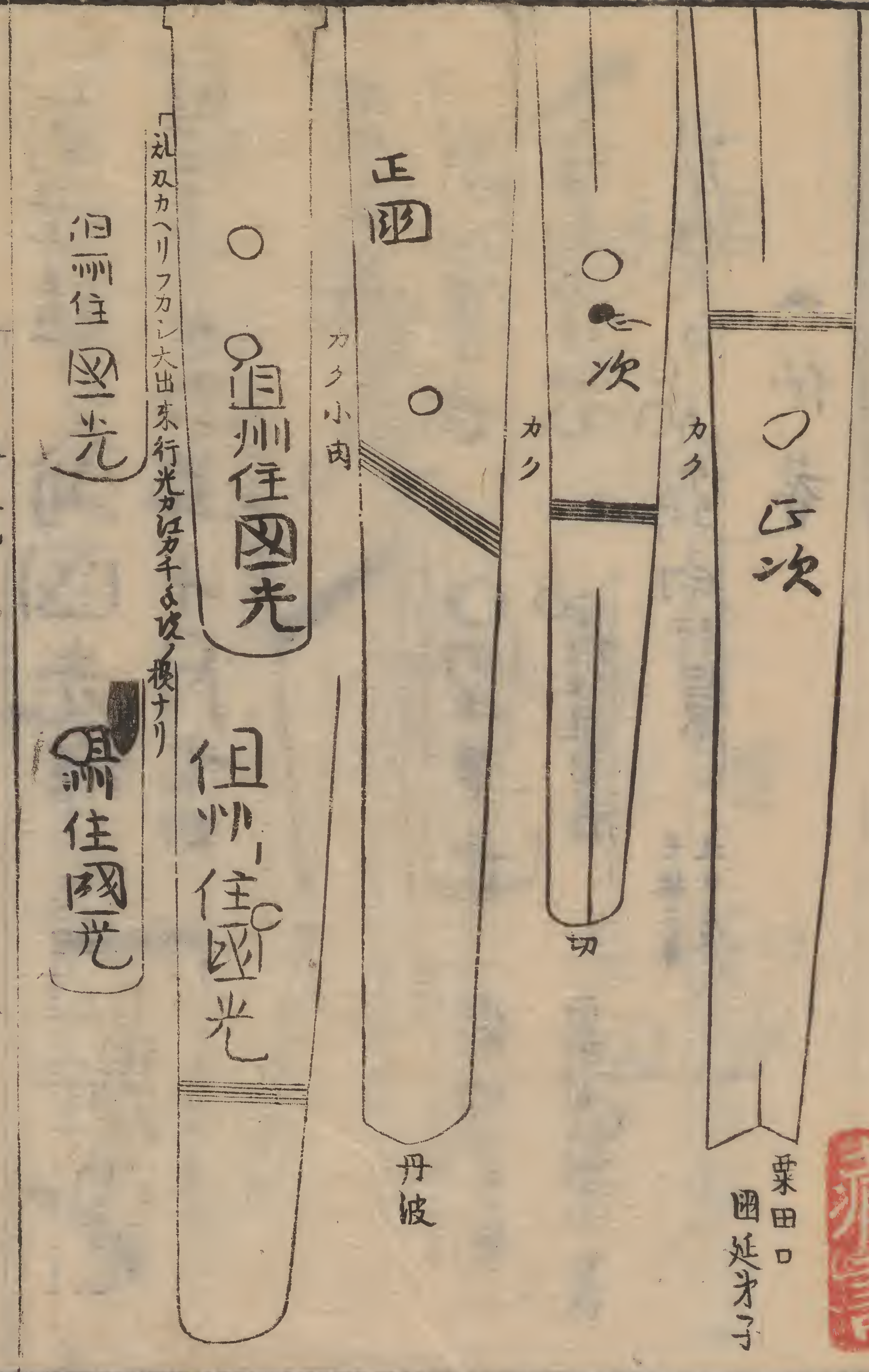
中心銘押形
西國之部

九

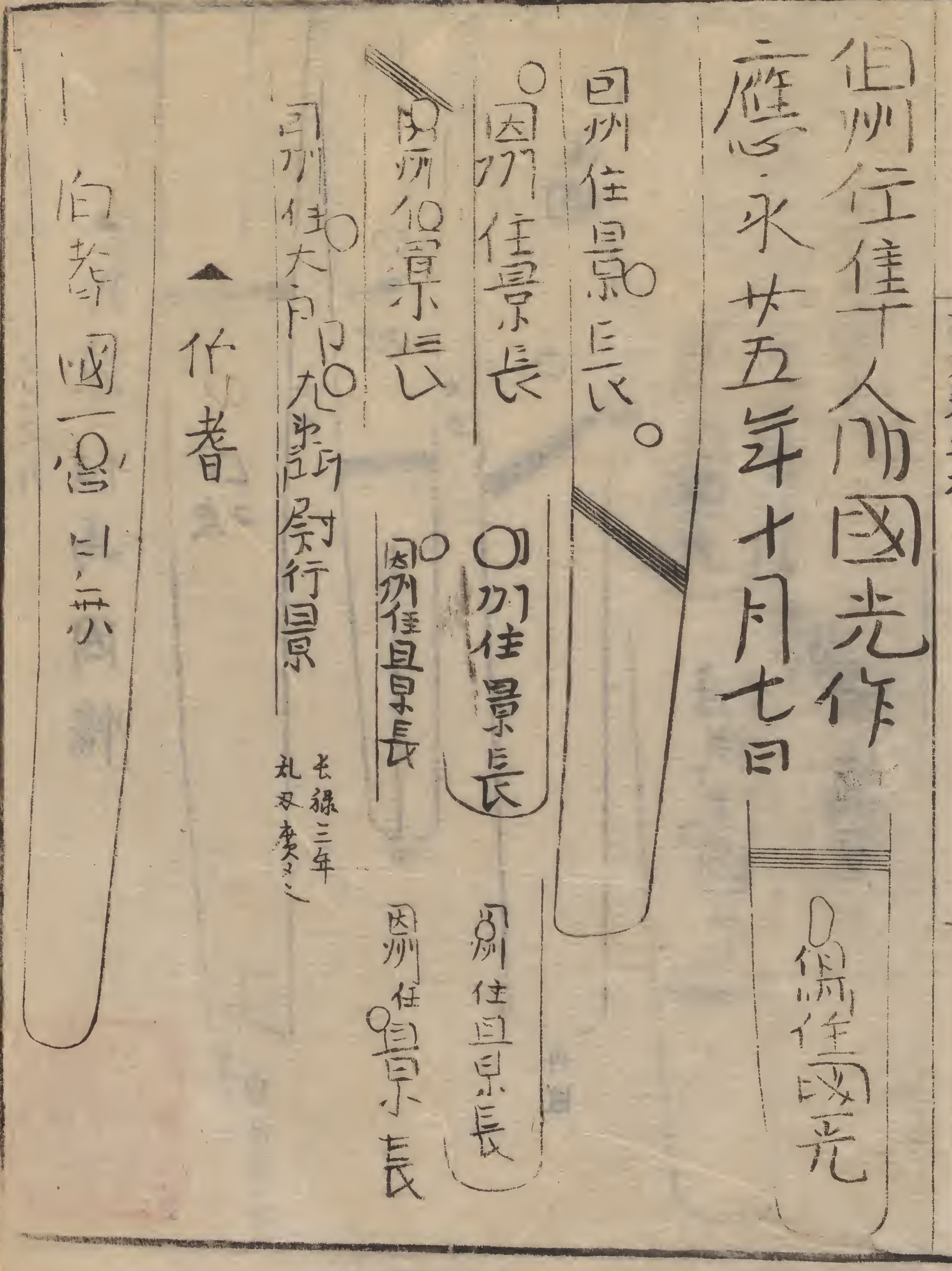
680
.05

古刀銘盡大全巻之九

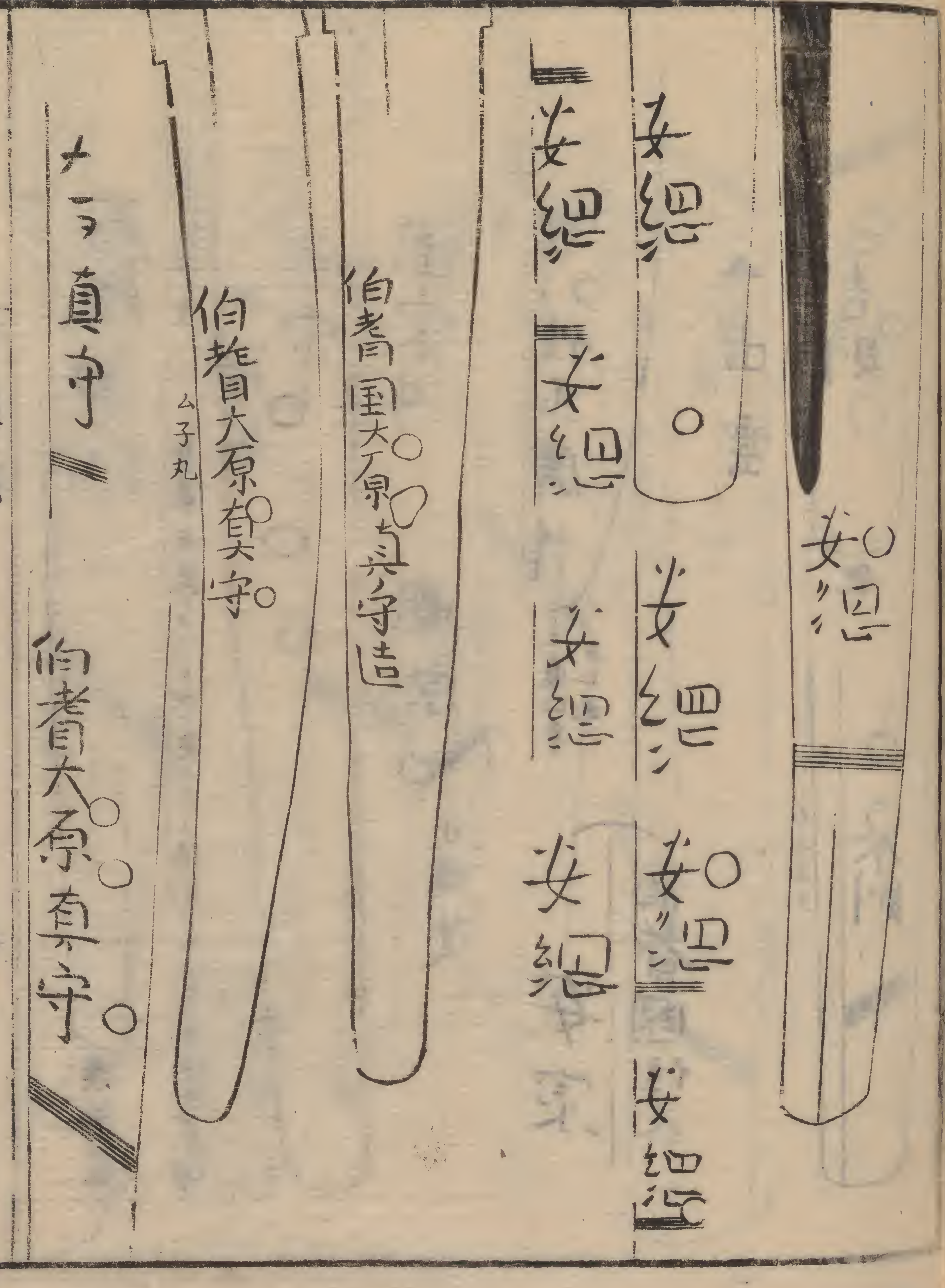
▲丹波 但馬 因幡



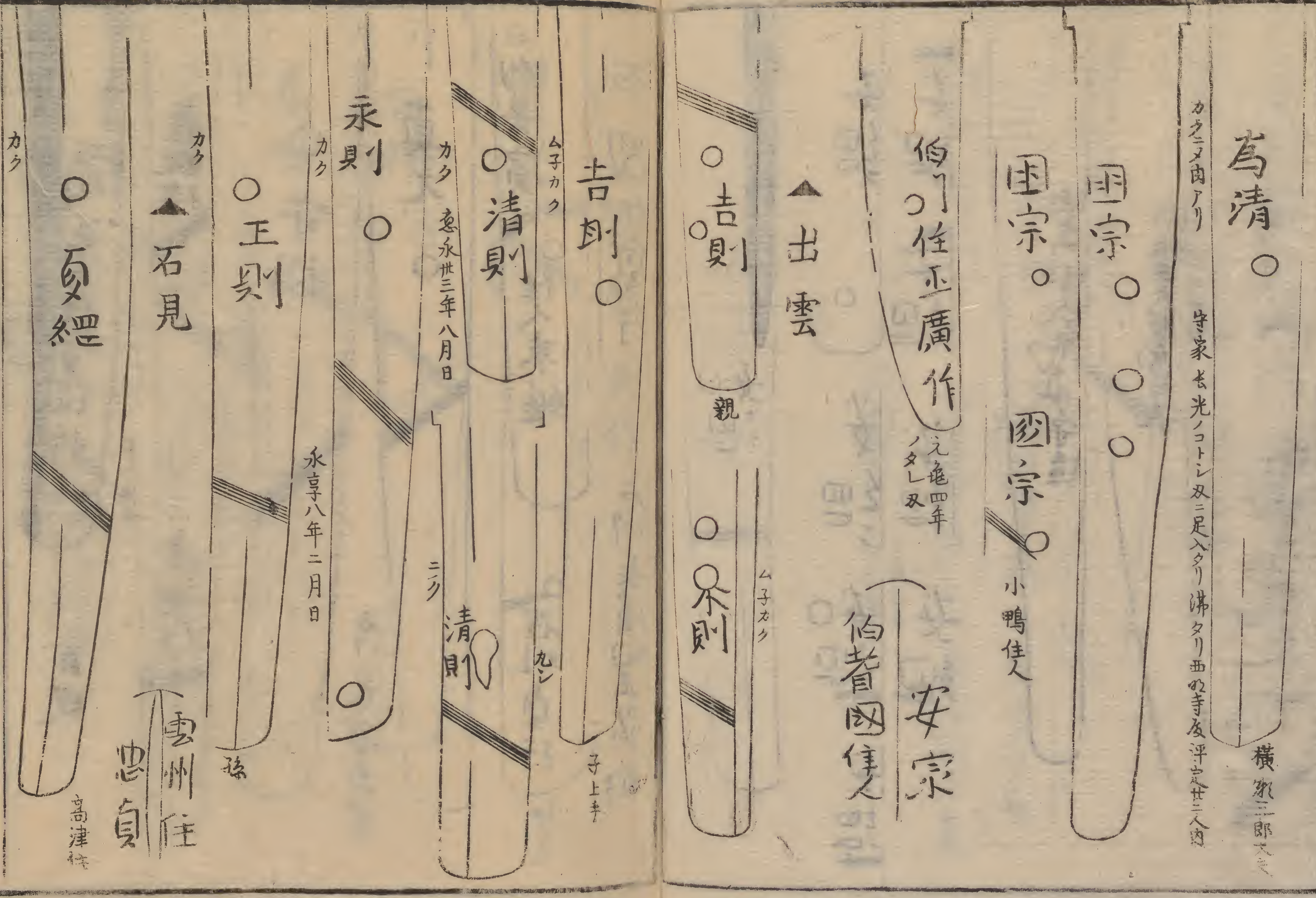
Freer Gallery of Art
Washington, D.C.

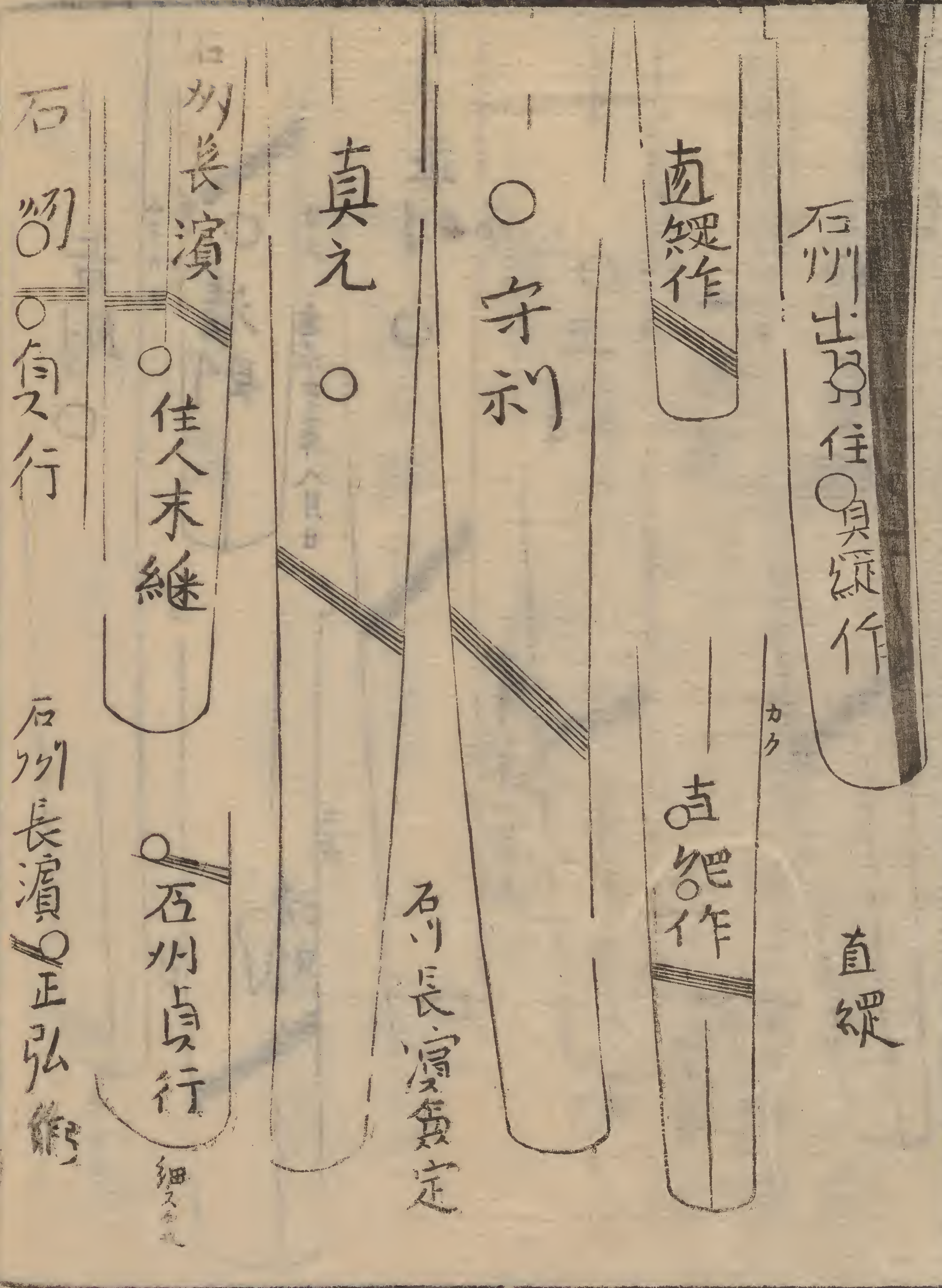


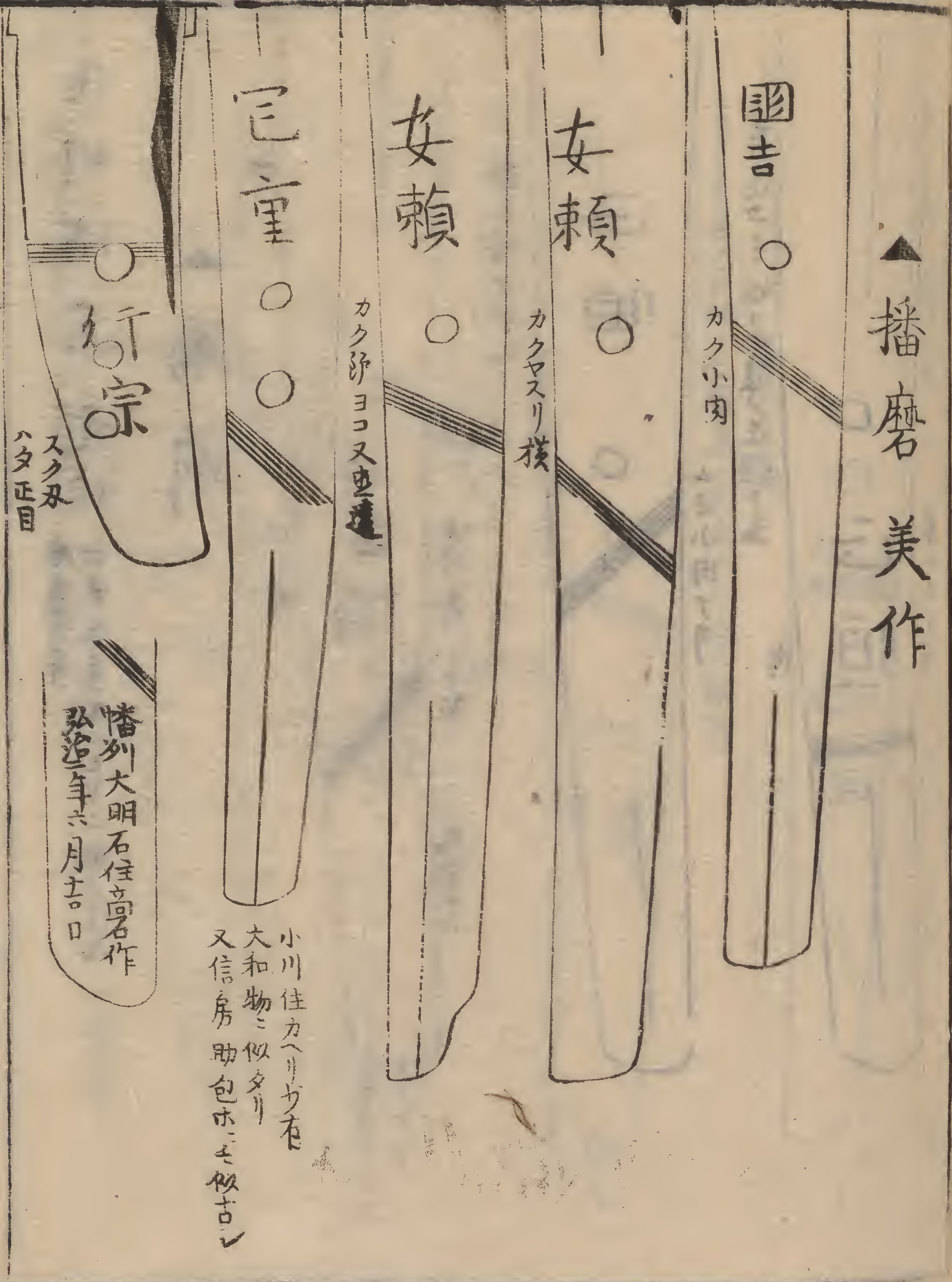
但州住隼人佑国光作
應永廿五年十月七日
但州住国光
因州住景長
因州住景長
因州住景長
因州住景長
因州住景長
因州住景長
因州住景長
因州住大門九郎左衛門尉行景
長禄三年
丸双之
作者
伯耆国□□



安綱
安綱
安綱
安綱
安綱
安綱
安綱
安綱
安綱
安綱
伯耆国大原真守造
伯耆国大原真守
ム子丸
大ヲ真守
伯耆大原真守


為清
カタニメ肉アリ
横山二郎大夫
国宗
国宗
国宗
小鴨住人
伯州住正廣作
元亀四年
ノタレ刄
安宗
伯耆国住人
出雲
吉則
親
ムネカク
吉則
ムネカク
子上手
清則
カク
寛永廿三年八月日
清則
ニク
丸レ
永則
カク
永享八年二月日
正則
カク
孫
石見
カク
貞継
カク
高津住
雲州住
忠貞

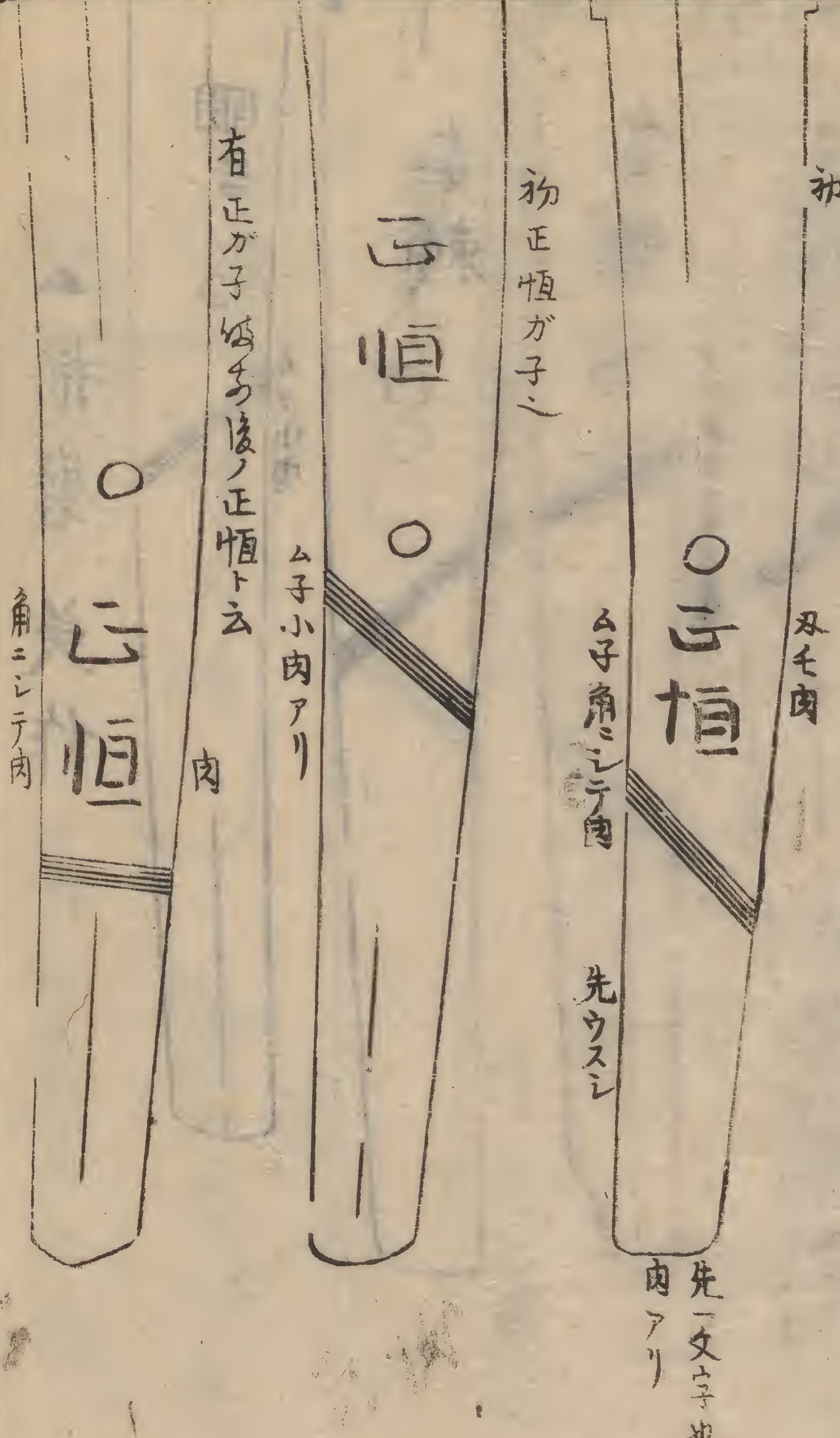

石州出羽住○貞綱作
カク
直綱
直綱作
直綱作
守利
石州長濱貞定
真え
石州長濱
住人末継
石州貞行
細スル丸
石刕
貞行
石州長濱
正弘
鍛

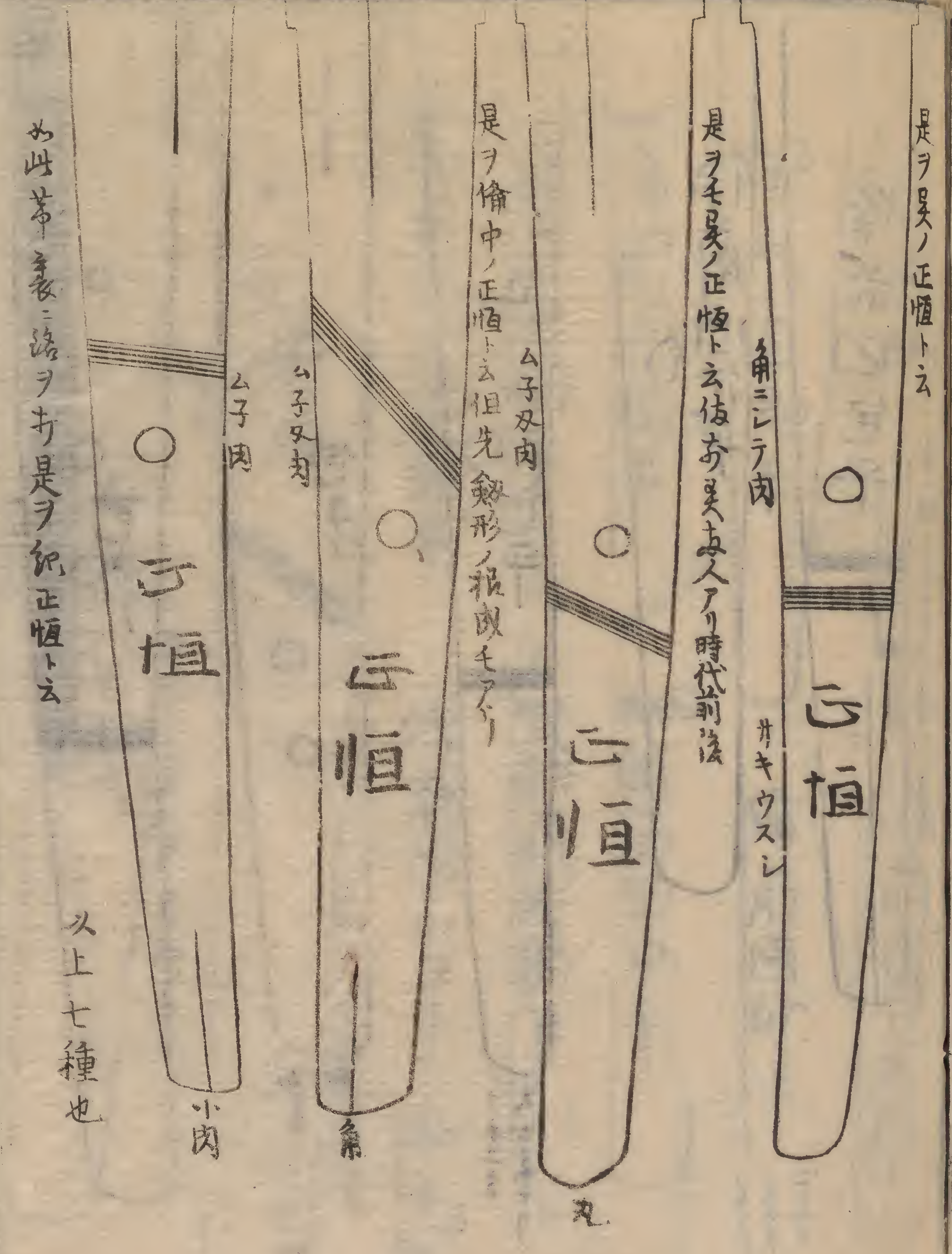

▲播磨 美作
國吉
カク小肉
安頼
カクヤスリ横
安頼
カクヤスリヨコ又直違
宣重
小川住カヘリ方在
大和物ニ似タリ
又信房助包ホトモ似古シ
行宗
スク刃
ハタ正目
播州大明石住高名作
弘治二年六月吉日

作州住宗光作

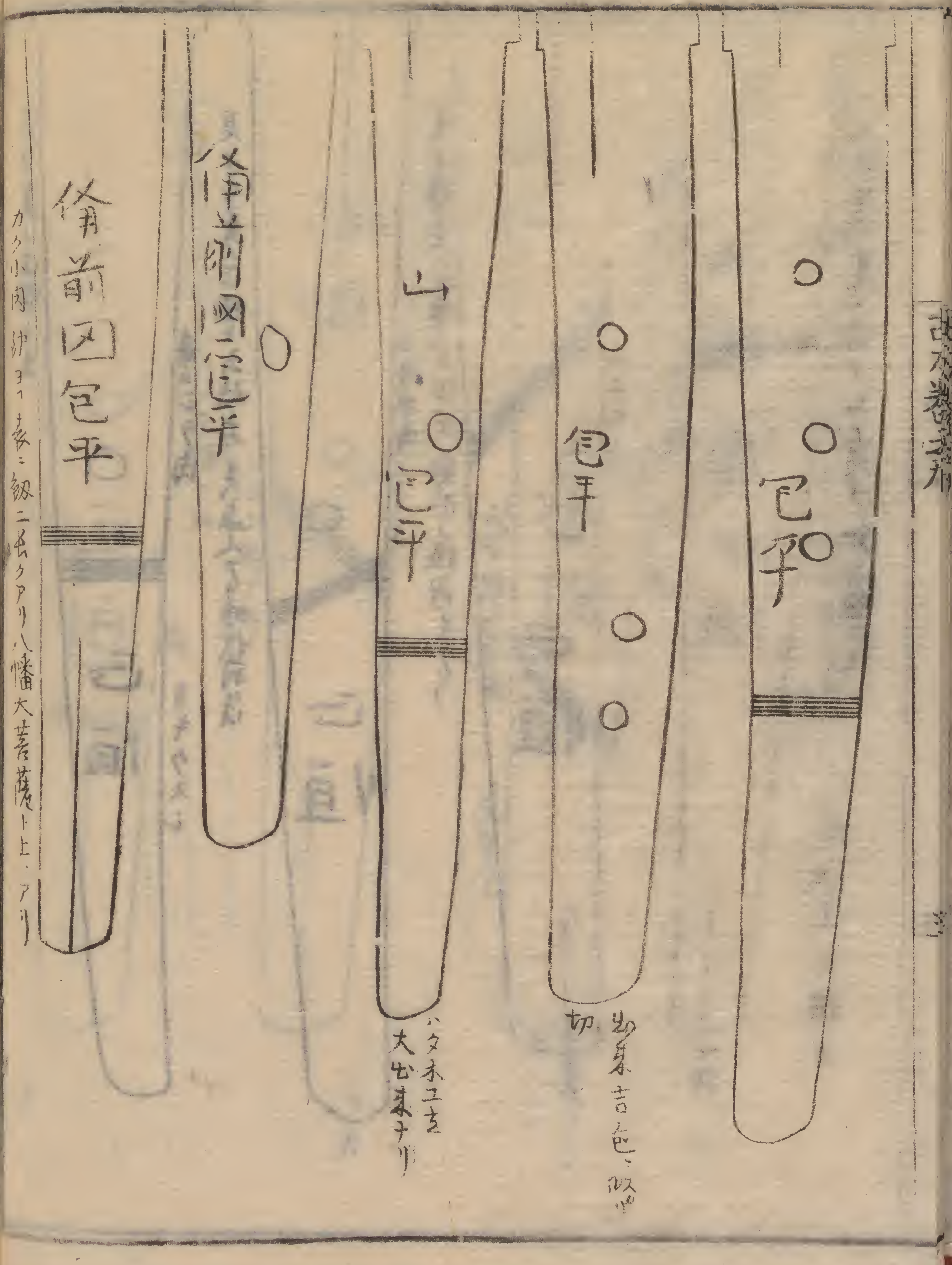
明応六年 出来良房又ハヒセン物ノコトシ

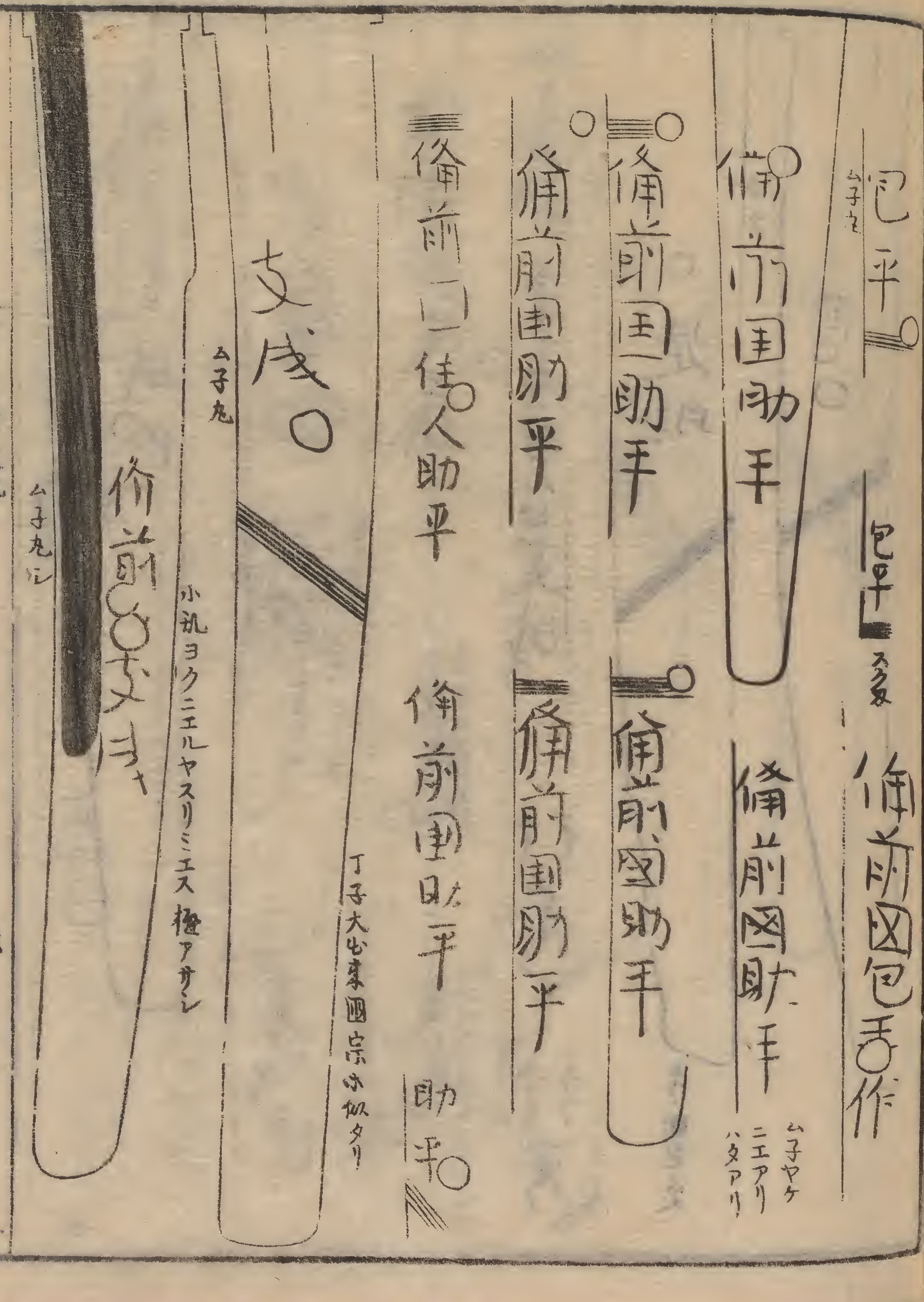
備前

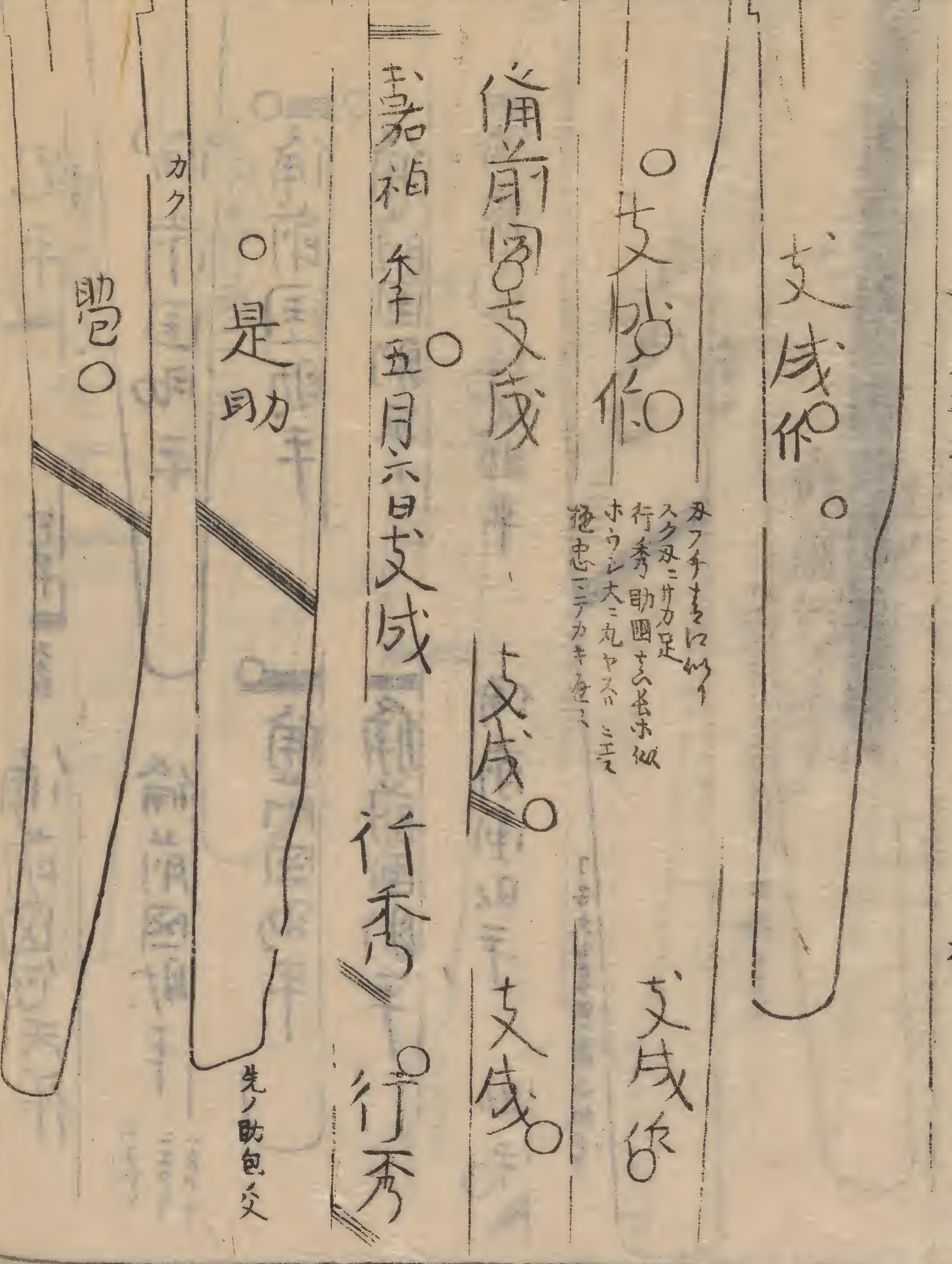




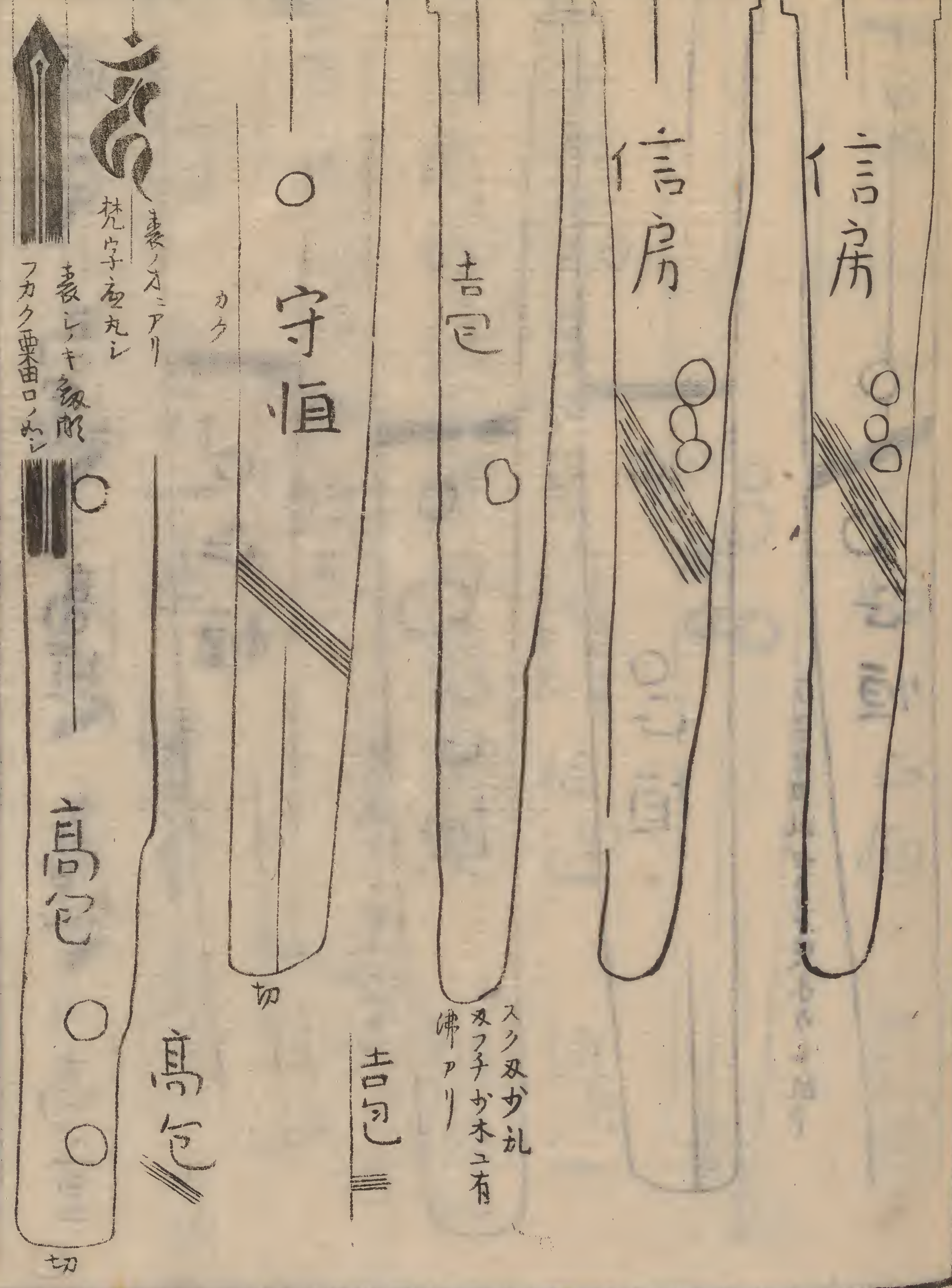
以上七種也


包平
出来吉包ニ似
包平
切
山
包平
ハタ木ユエ
大出来ナリ
備前国包平
備前国包平
カク小肉 沙ヨリ表ニ級ニ出タアリ八幡大菩薩ト上ニアリ

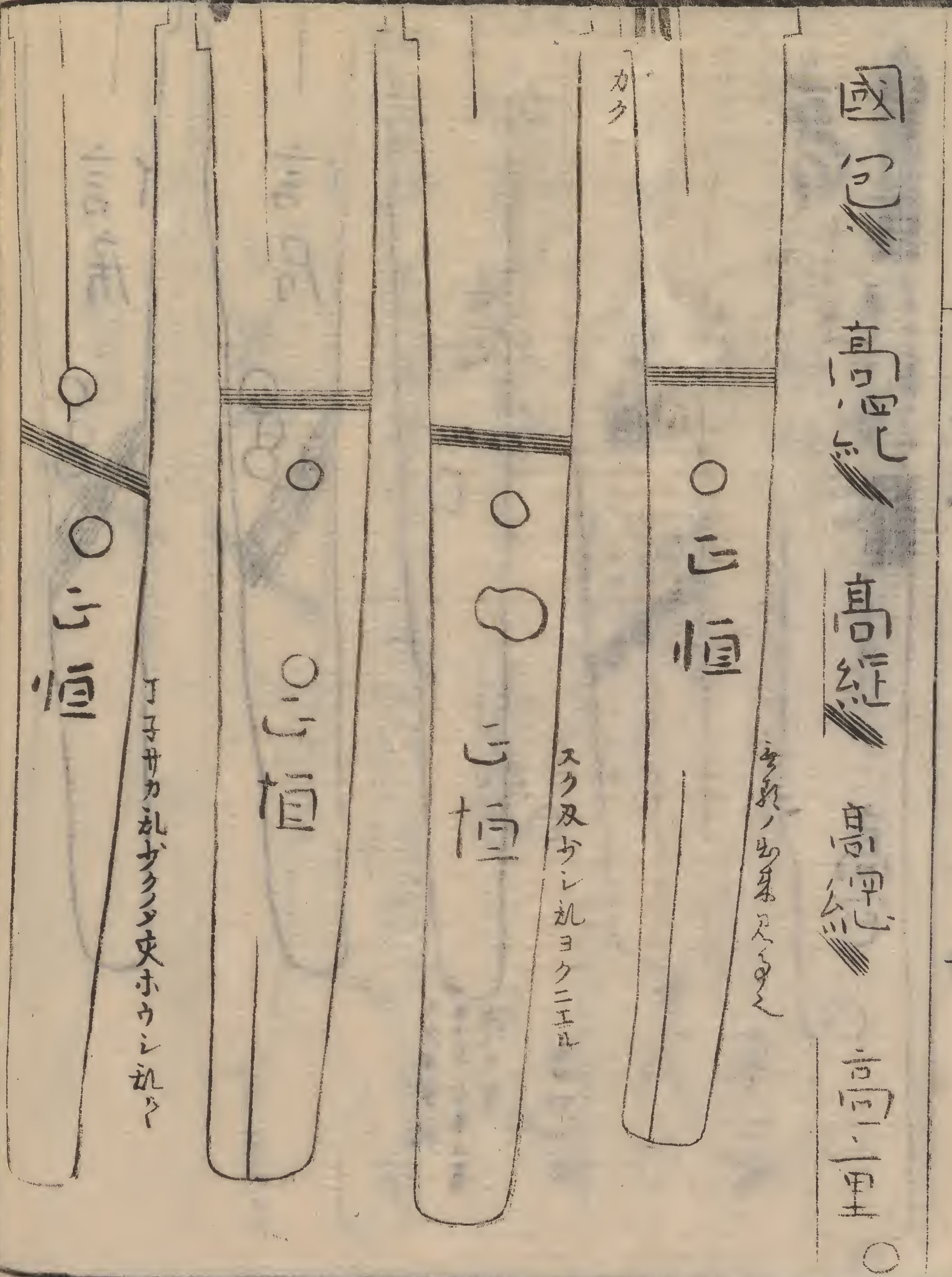

包平
ム子丸
包平
炎
備前国包平作
備前国助平
備前国助平
ム子ヤケ
ニエアリ
ハタアリ
備前国助平
備前国助平
備前国助平
備前国助平
備前国住人助平
備前国助平
助平
丁子大出来国宗ニ似タリ
友成
ム子丸
小乱ヨクニエルヤスリミエス
備前国友成作
ム子丸ニ

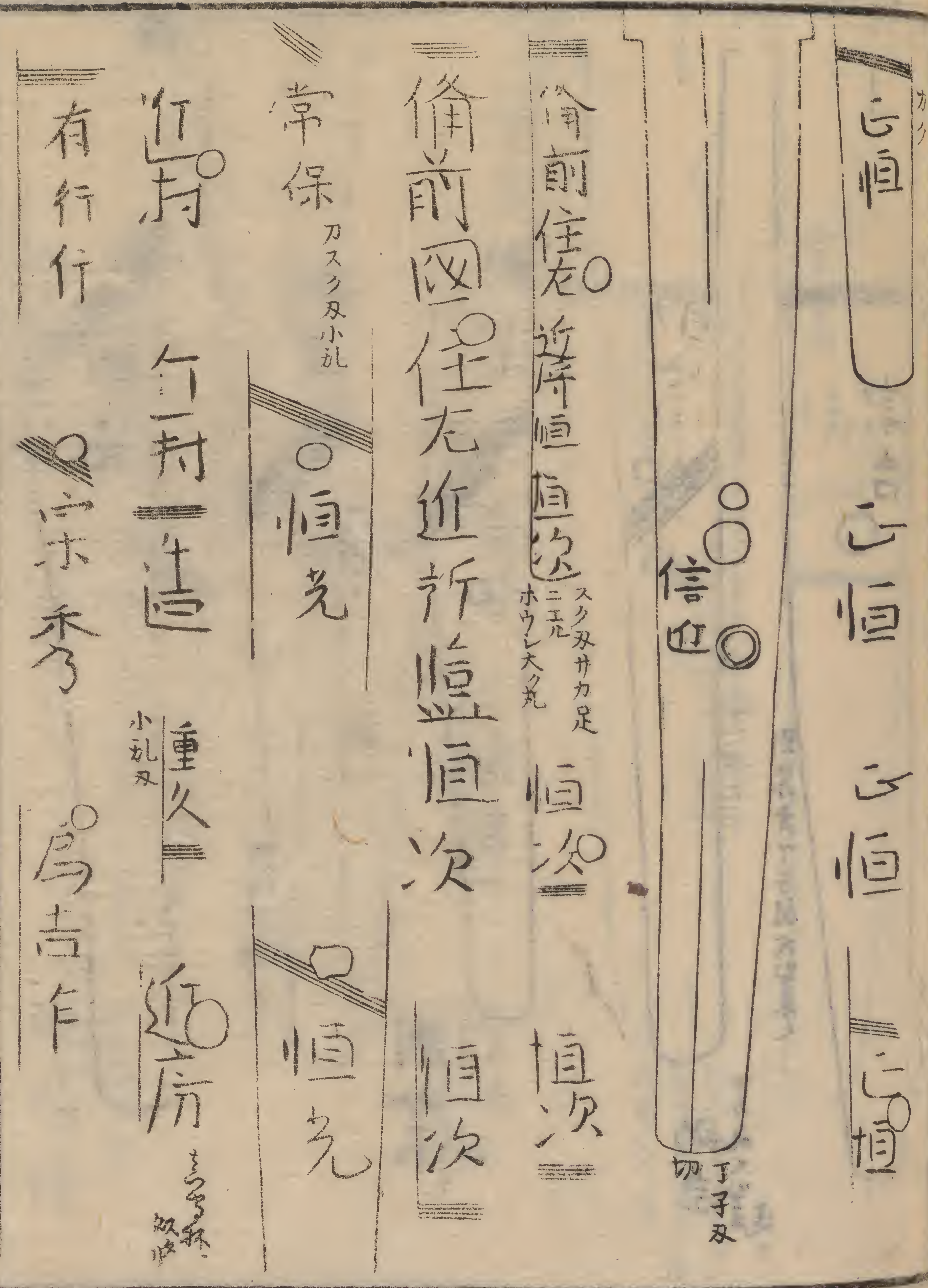


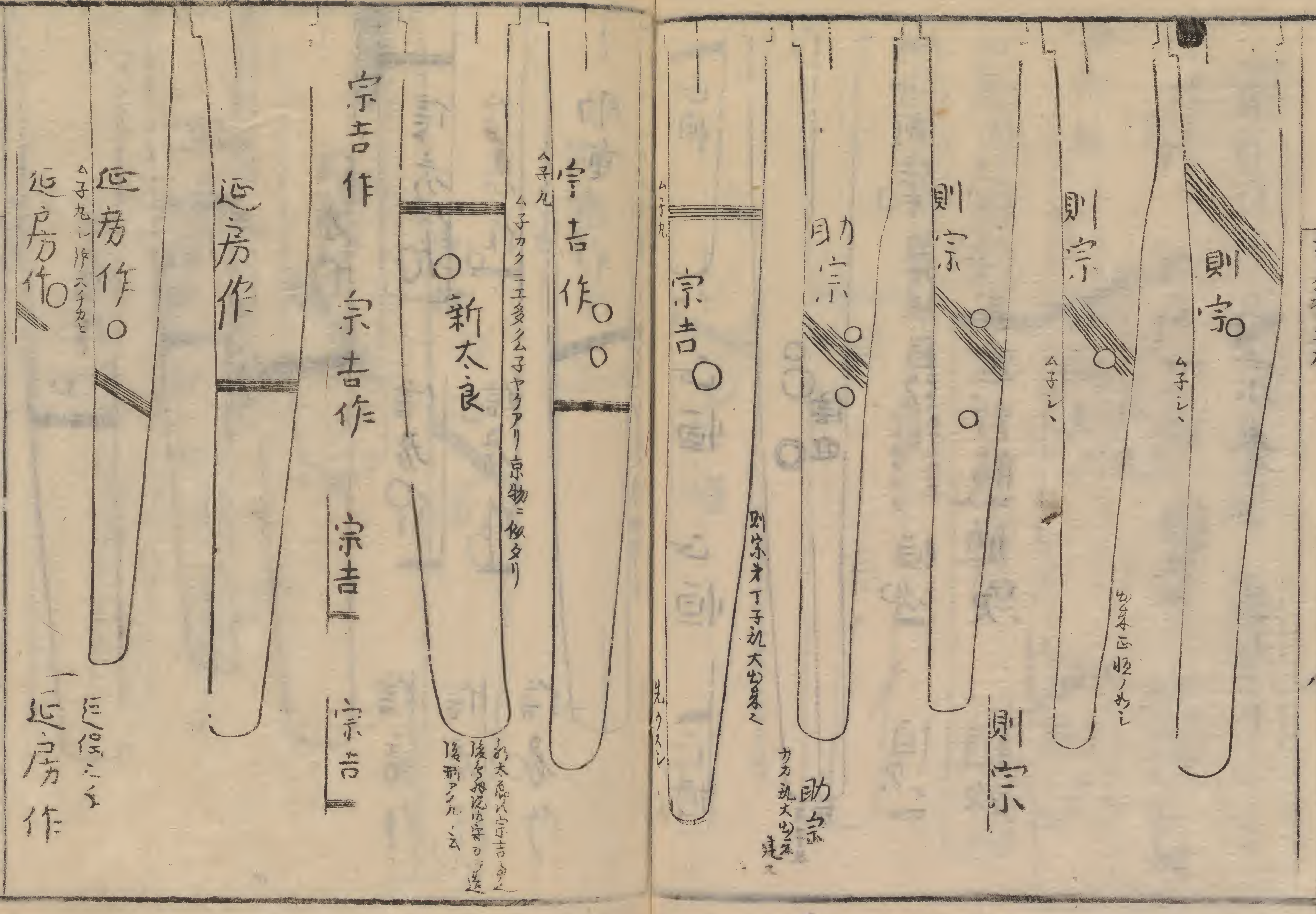
支成作
支成作
タフチ古ニ似
スク刄ニサカ足
行秀助國ニ大キニ似
ホウシ大ニ丸ヤスリニテ
極忠ニテカキ屋ス
支成作
備前國支成
支成
支成
嘉禎　年五月六日支成
行秀
行秀
カク
是助
先ノ助包父
包

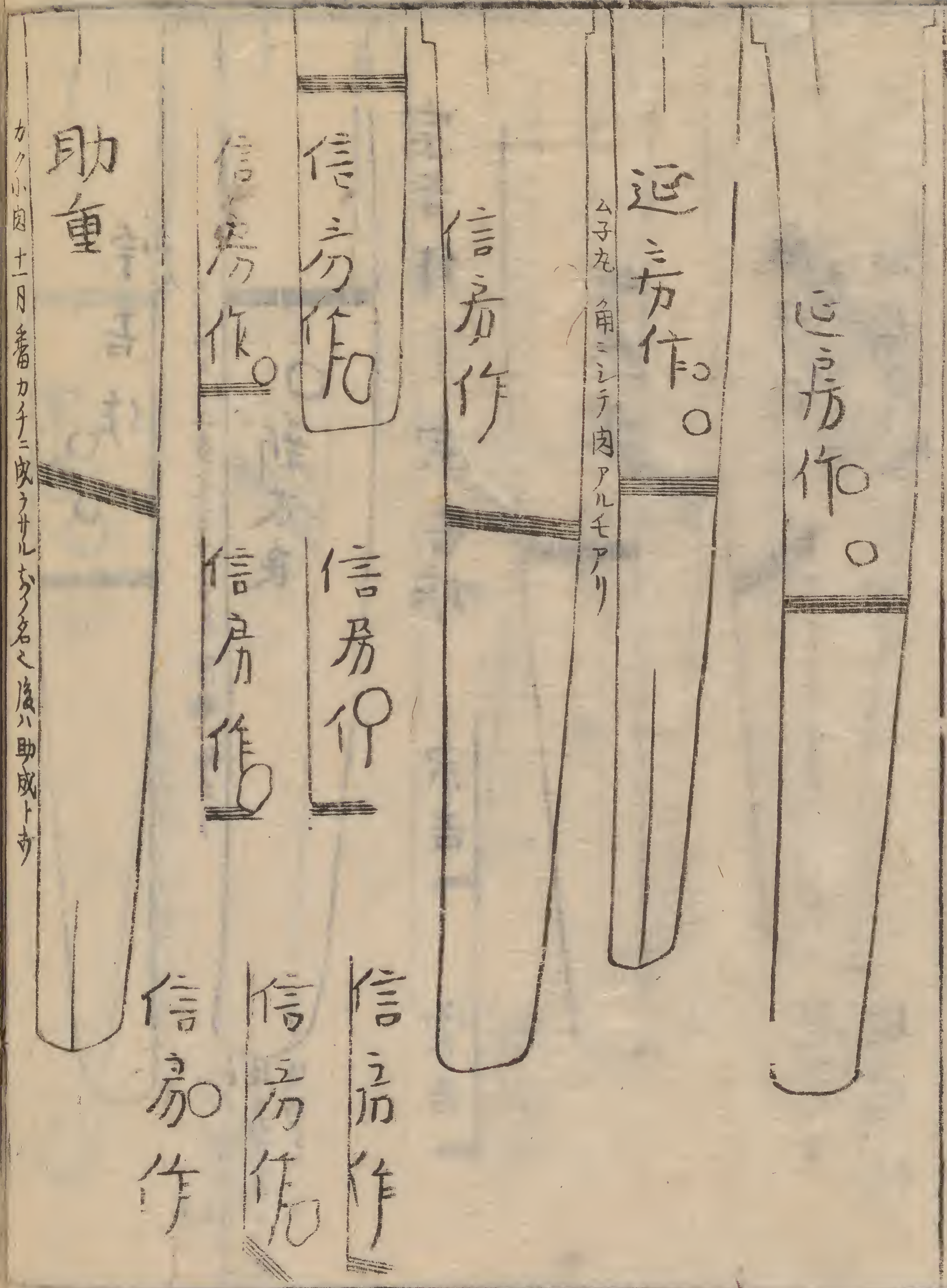


信房
信房
吉包
スク刄サカ乱
刄フチサカ木ニ有
沸アリ
吉包
カク
守恒
切
表ノ方ニアリ
梵字ゐ丸レ
裏レンキ銘
フカク粟田ロノぬレ
高包
高包
切

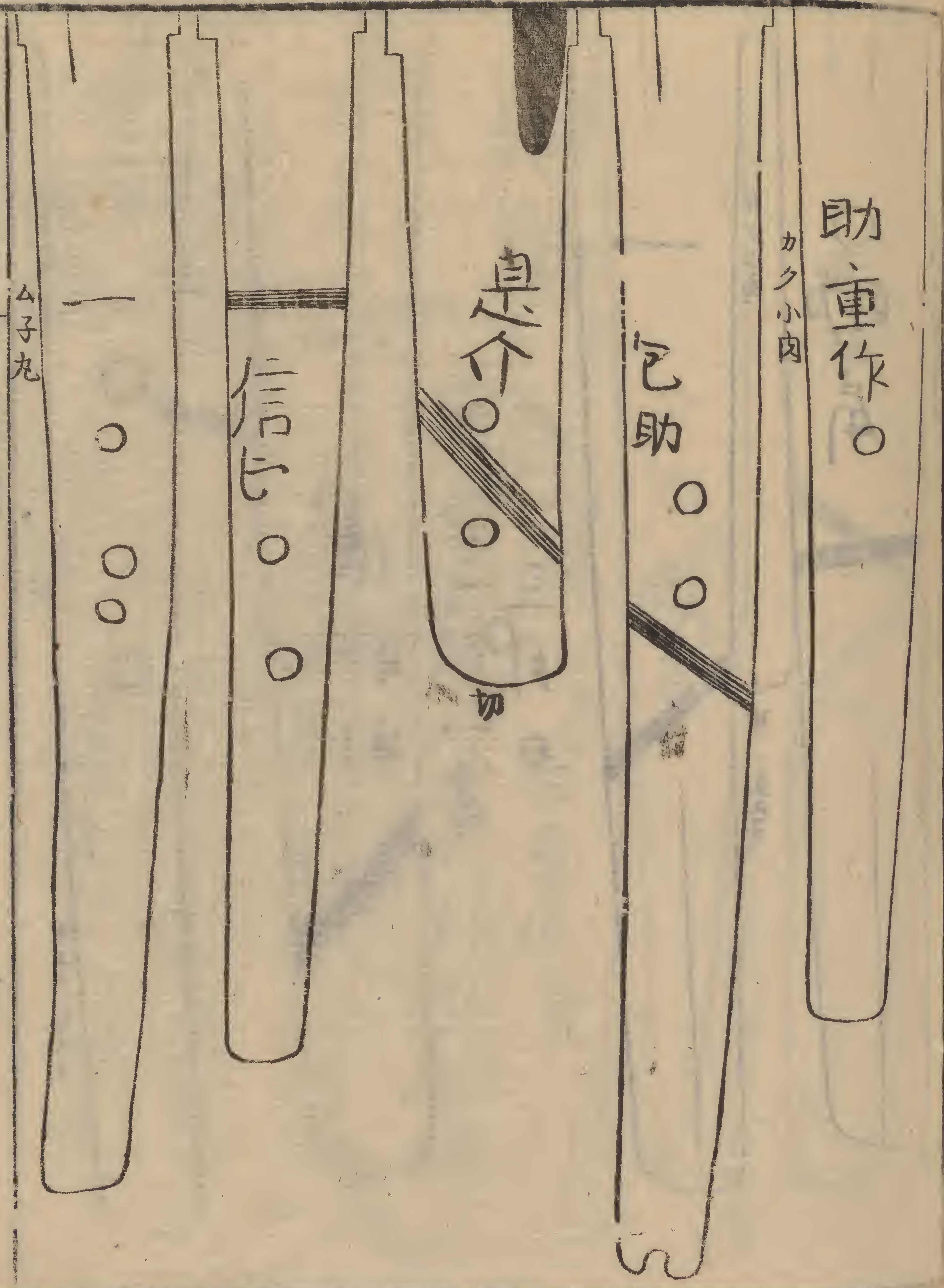

國包
高紀
高綱
高紀
高三里
カク
正恒
スク刃サカレ乱ヨク二エル
正恒
正恒
丁子サカ乱サククタ夫ホウレ乱〃
正恒
カク
正恒
正恒
正恒
正恒
信正
丁子刃
切


備前住左近将監恒次
スク刃サカ足
二エ丸
ホウレ大ク丸
恒次
恒次
備前國住左近将監恒次
恒次
常保
刀スク刃小乱
恒光
恒光
近村
近村
近房
重久
小乱刃
有行
宗秀
為吉作

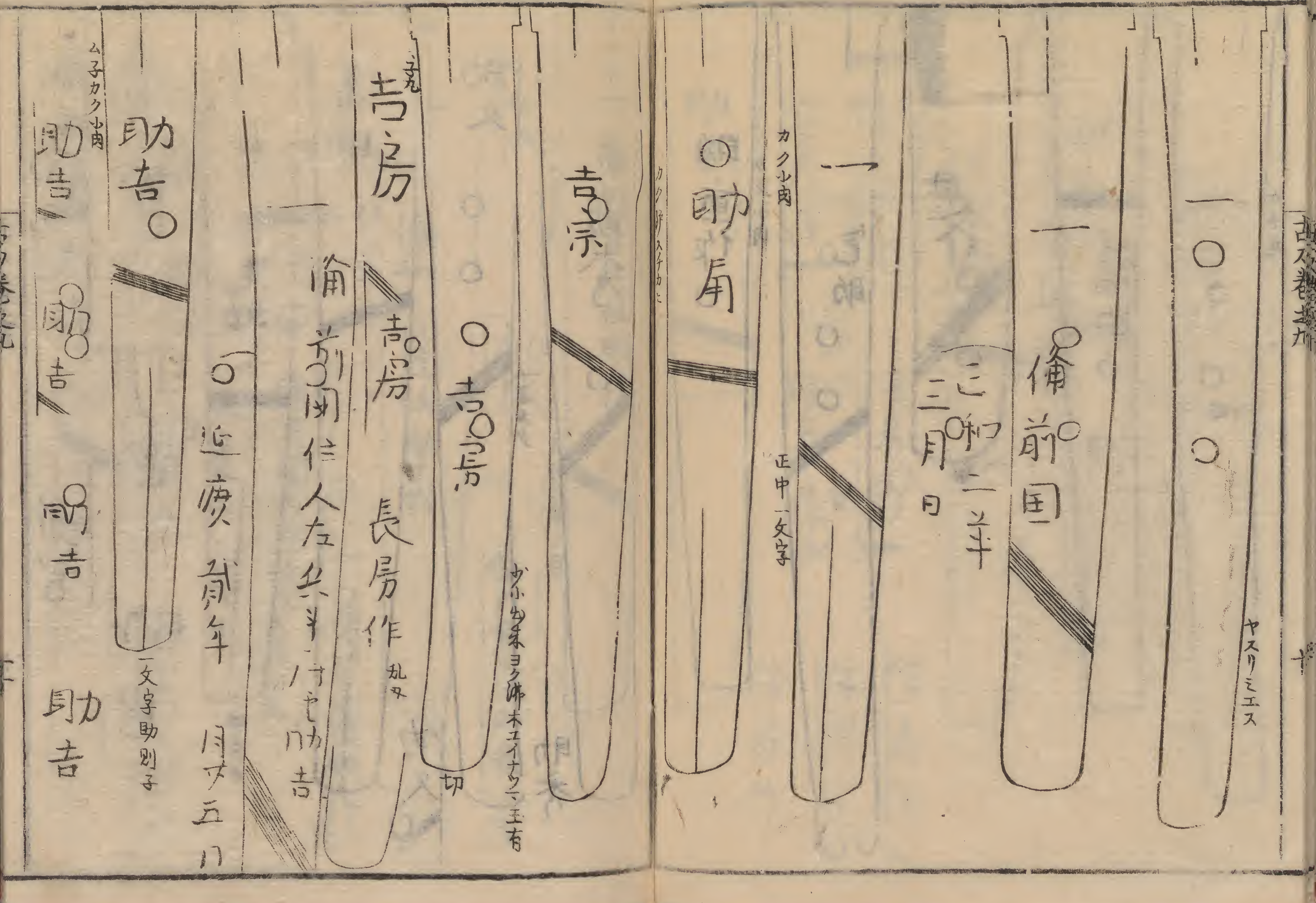

則宗
ムチレ丶
出來正恒ノカシ
則宗
ムチレ丶
則宗
則宗
助宗
助宗
カカ丸大出來建之
ムチ丸
宗吉
先ウスシ
則宗才丁子丸大出來之
ム子丸
宗吉作
ム子カク二エ多ク公子ヤクアリ京物ニ似タリ
新太良
新太良ハ宗吉ノ子也
後ニ備前ニ下カウ道
後刑アリ九ト云
宗吉作
宗吉作
宗吉
宗吉
近房作
近房作
ム子丸ニ作スミナカト
近房作
近房作
近保ノ子

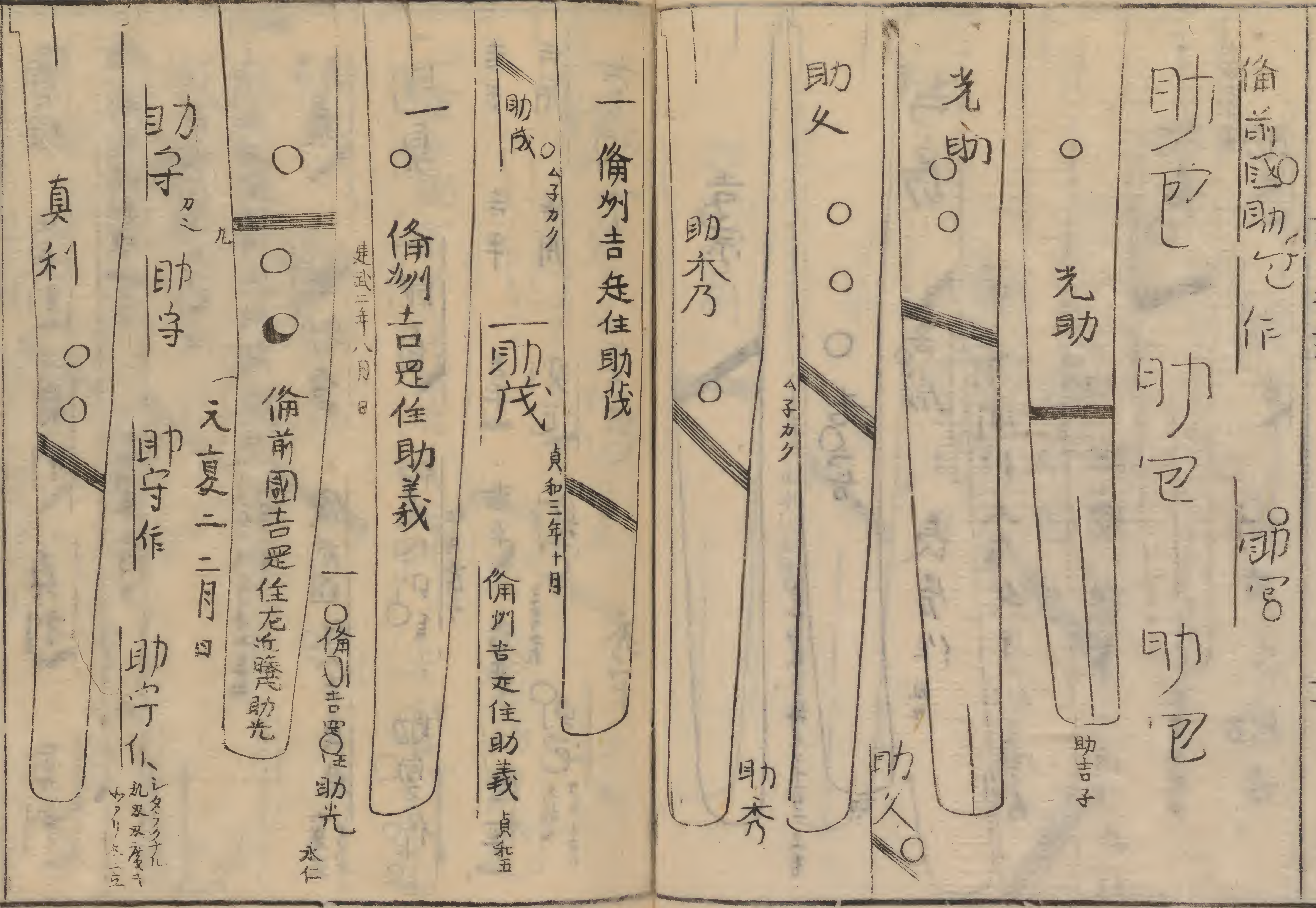


延房作○
ム子丸 角ニシテ肉アルモアリ
延房作○
信房作
信房作○
信房作○
助重
カク小肉 十一月番カチニ吹テサル あり名之後ハ助成トあり
信房作
信房作
信房作
信房作○
信房作○
信房作



助重作○
カク小肉
包助
是介
切
信包
ム子丸
一


一○
○
ヤスリミエス
一
備前国
近和二年
三月日
一
カク少肉
正中一文字
○
助角
カクスチカヒ
吉宗
少ホ出来ヨク沸ホエイナウテ三有
吉房
切
吉房
長房作
乱刃
光
吉房
一
備前国住人左兵衛尉助吉
○
近慶貮年
月廿五日
ムネカク少肉
助吉○
一文字助則子
助吉
助吉
助吉
助吉


備前國助包作
助包
助包
助包
助宮
光助
光助
助吉子
助久
ムネカク
助久
助秀乃
助秀
一 備州吉延住助茂
助成
ムネカク
一 助茂
貞和三年十月
備州吉延住助義
貞和五
一 備州吉岡住助義
建武二年八月日
一 備州吉岡住助光
永仁
備前國吉岡住左近將監助光
一 元亨二二月日
助守
刀之
九
助守
助守作
助守作
ニタフクナル
丸刄刄廣キ
ソリ太二三
真利

真利　真利　真利　真利　真利

備前国住則次　○　正和七年三月日　○

備前国新田庄住則次

備前国新田庄住親依造　スク刃小足小丁子ヲ交　文保三年

助真　助真　助真　備前国住人吉真造　ヲ盛光クメ

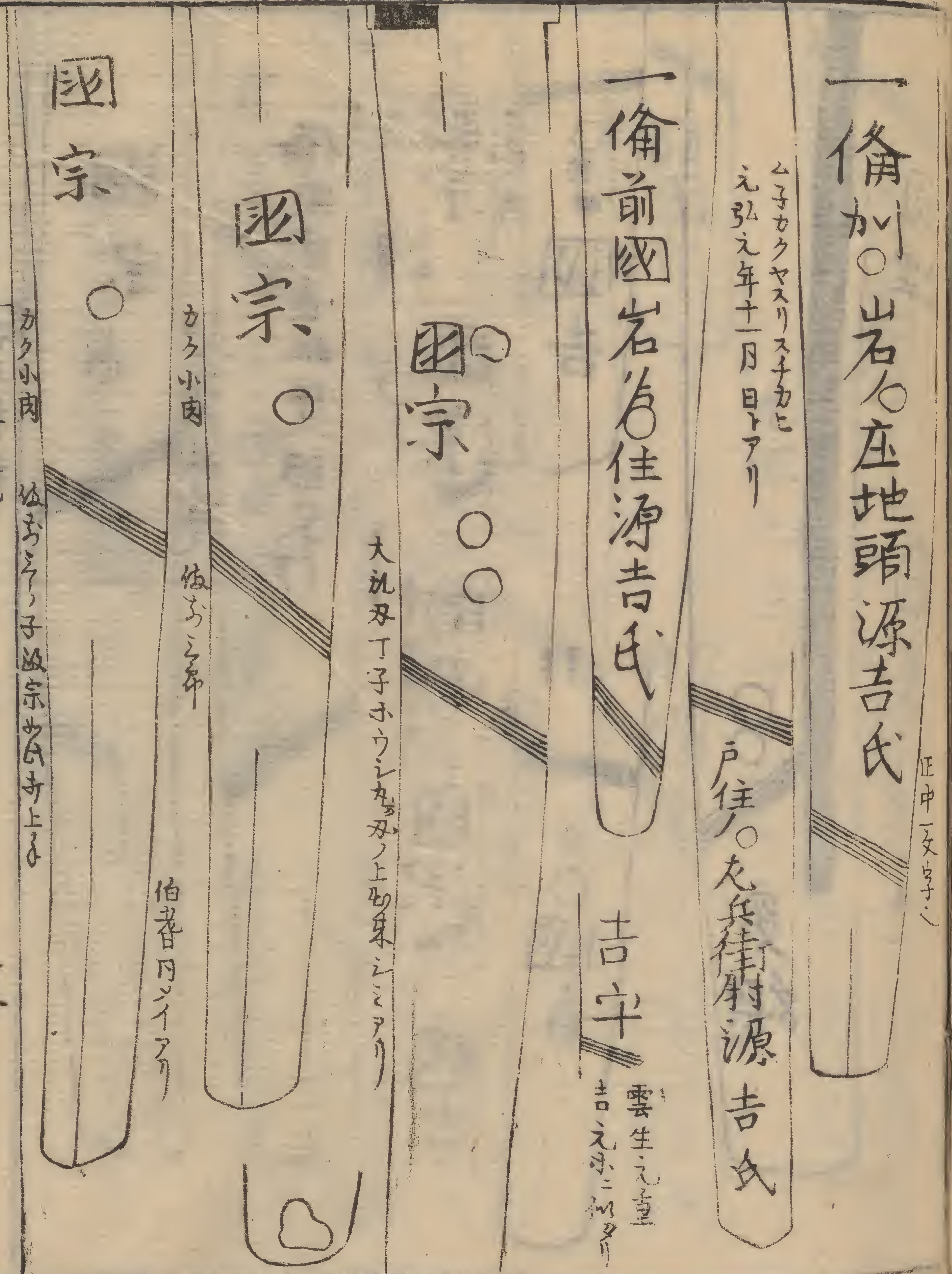
一助貞　一助貞　備前国則貞　助貞作

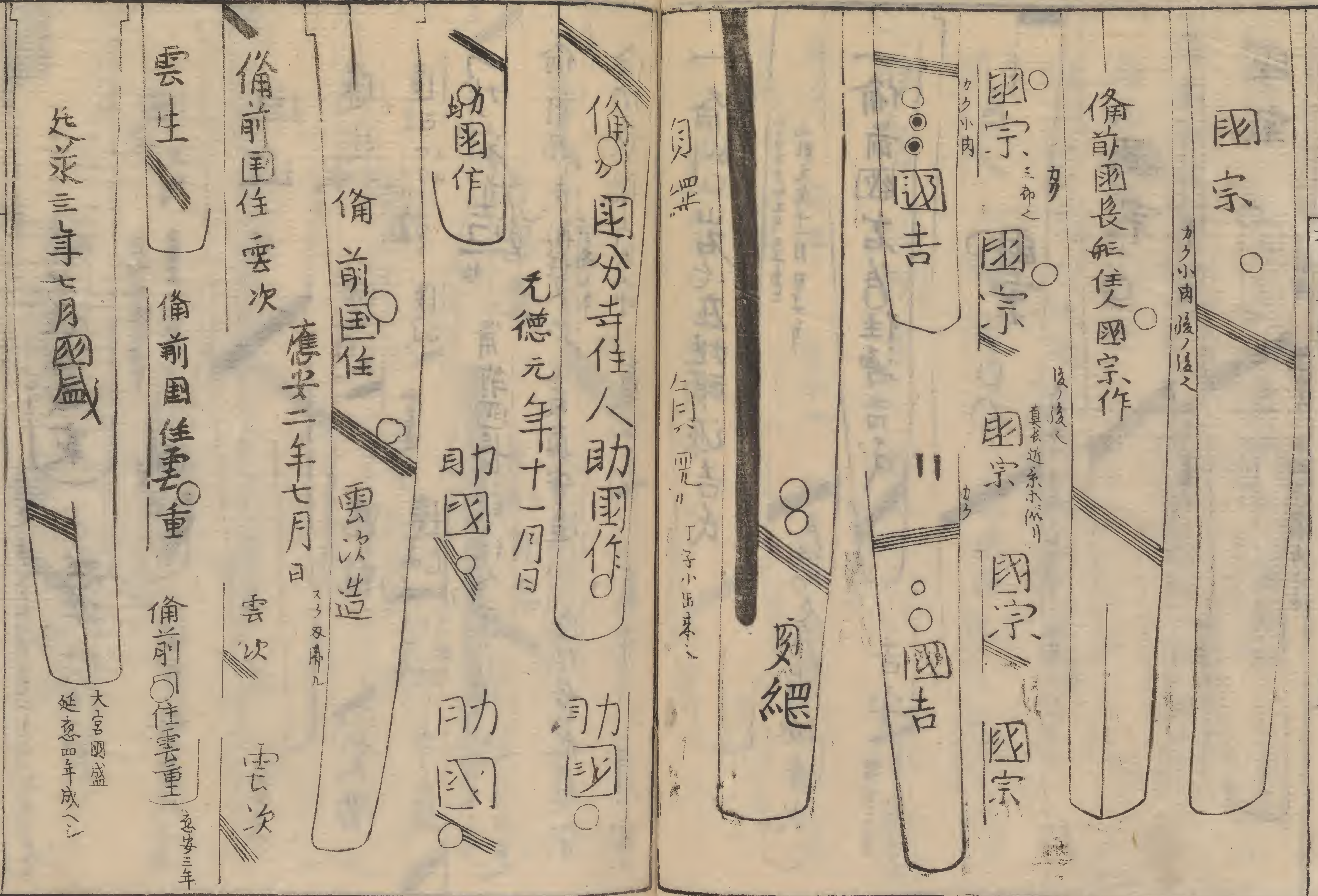
助貞ホ正宗ホ

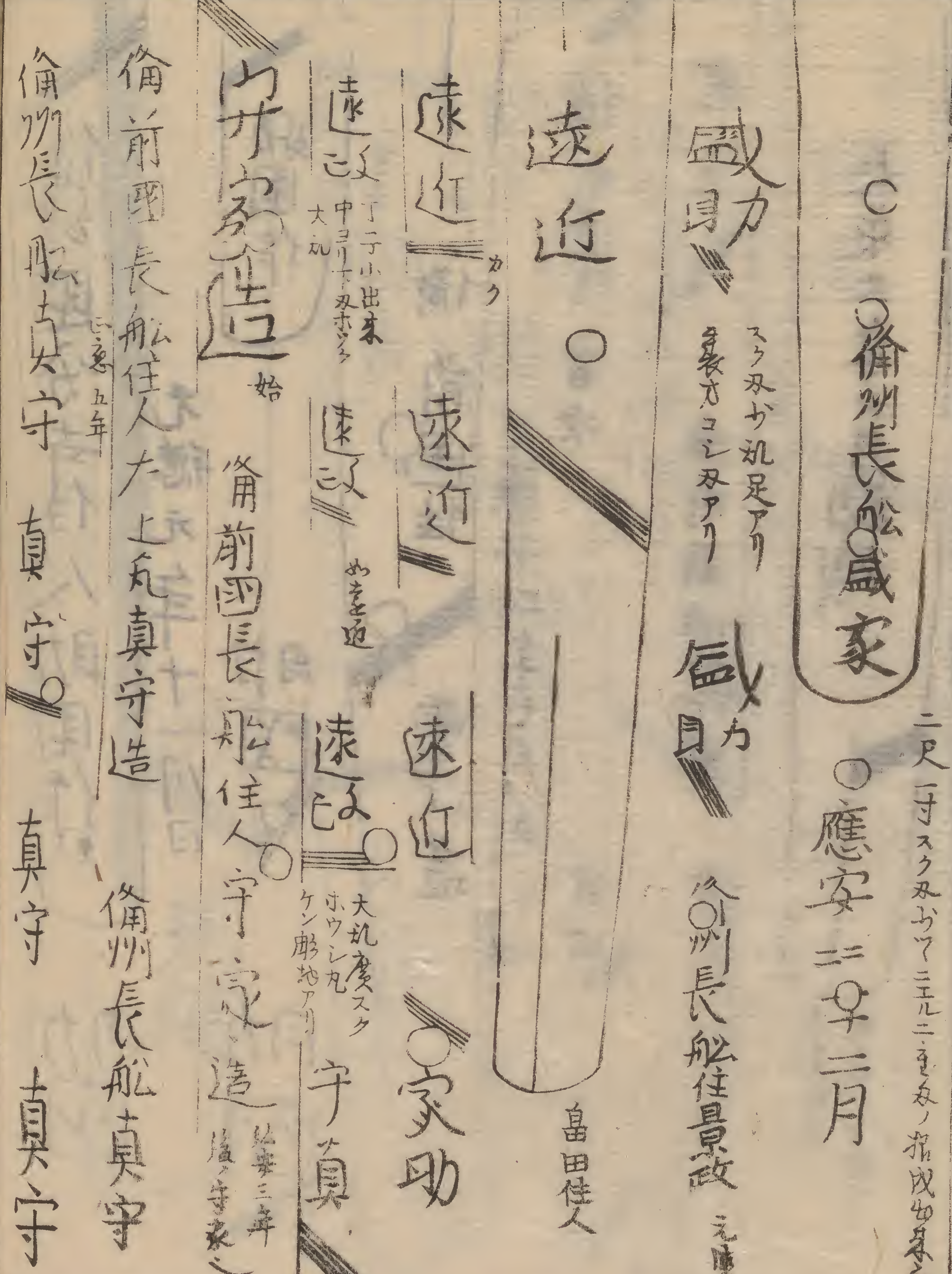
吉平　吉平　吉平　吉平　吉平　吉平

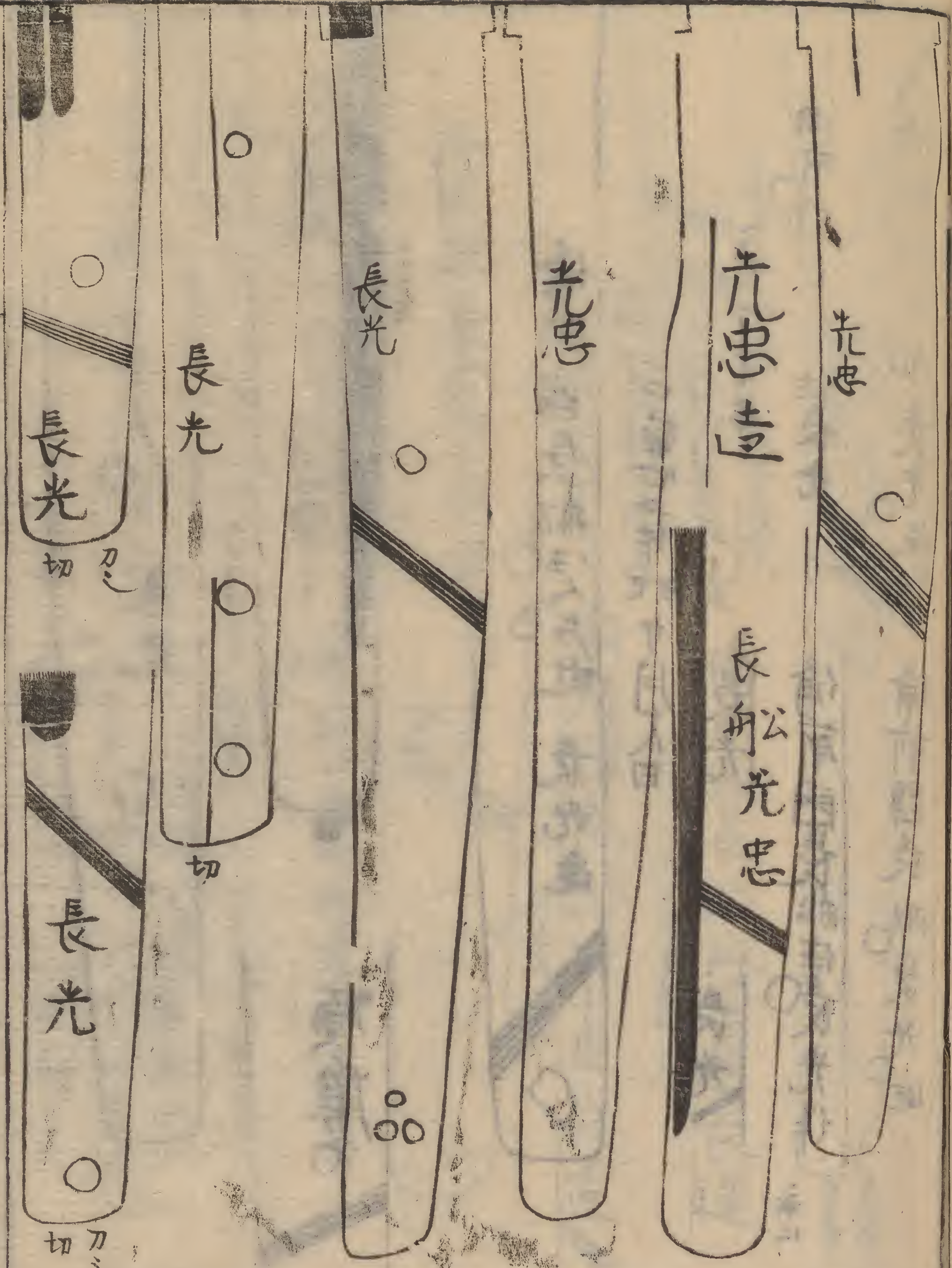
吉用　吉用　則包　則包　丁子サカ丸　則包　大乱刃サキトカリ

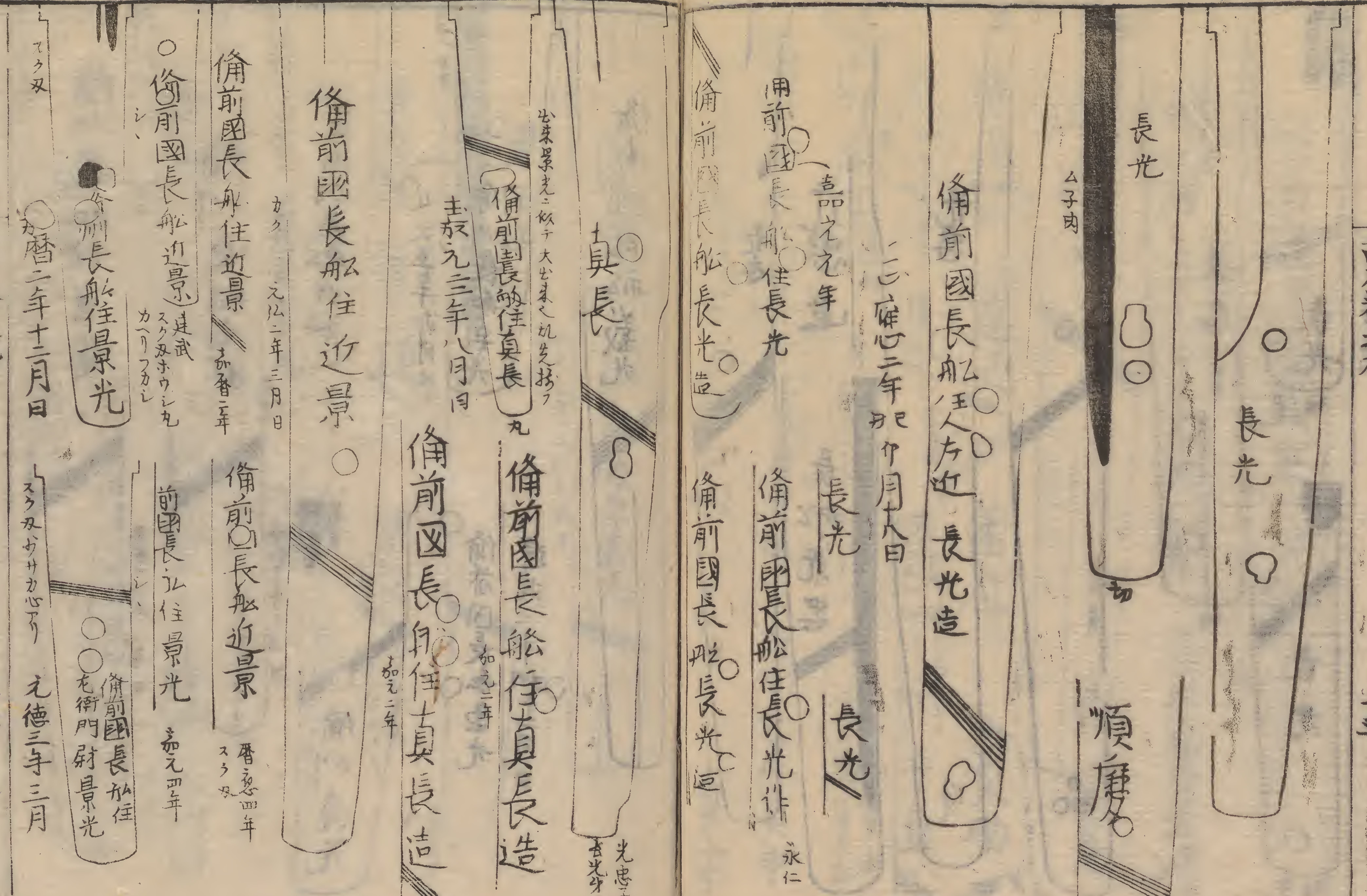
重助　太刀　重助　秀守



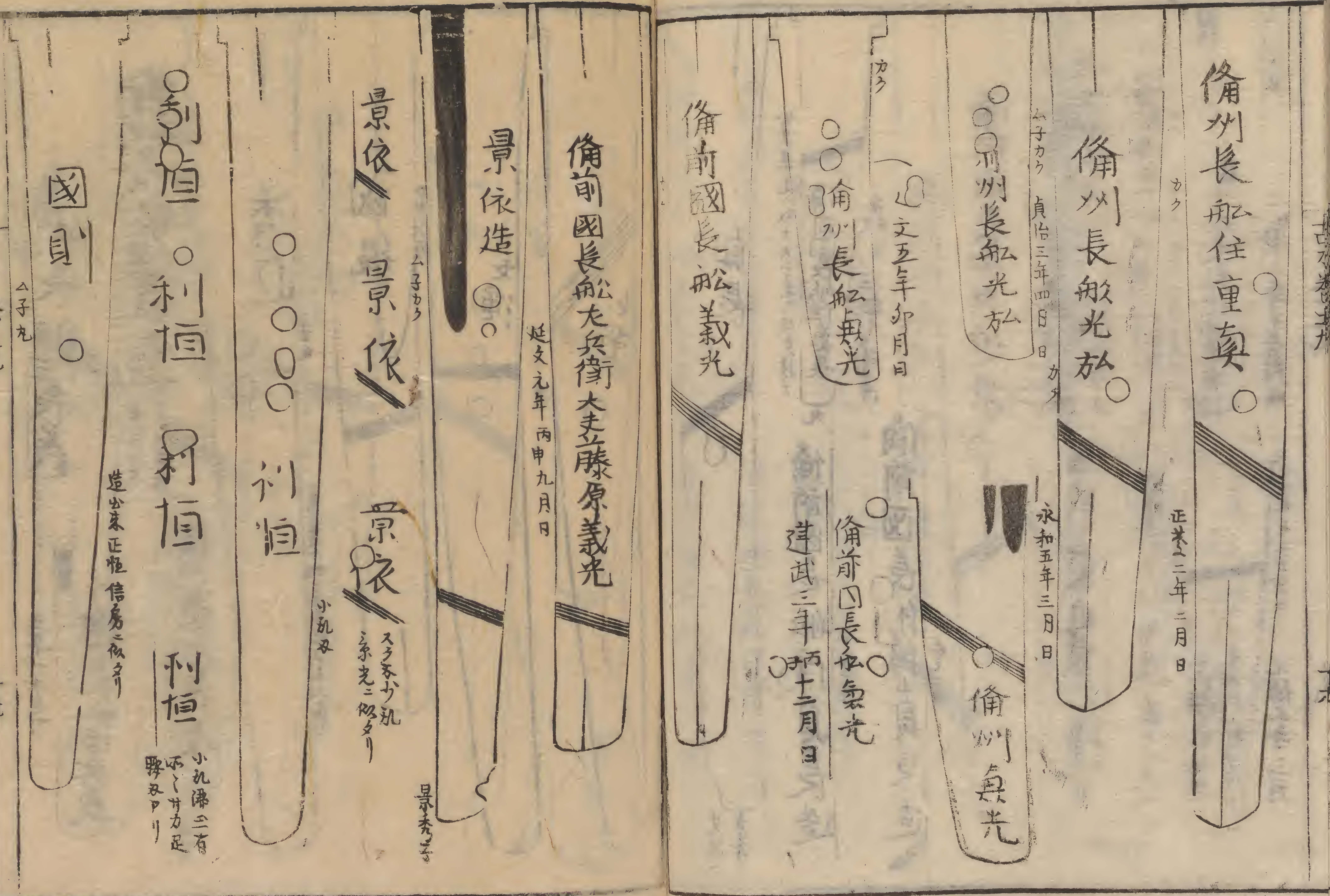

國宗
カク小肉 後ノ後之
備前國長船住人國宗作
國宗 三郎之 カク
國宗
後ノ後之 真長近景不似り
國宗
國宗
カク
國宗
カク小肉
國吉
國吉
國吉
丁子小出来之
備前國分寺住人助國作
元徳元年十一月日
助國作
助國
助國
備前國住
應安二年七月日
スリ刃帰ル
雲次造
雲次
雲次
雲生
備前國住雲次
備前國住雲重
備前國住雲重
應安三年
延慶三年七月國盛
大宮國盛
延慶四年成

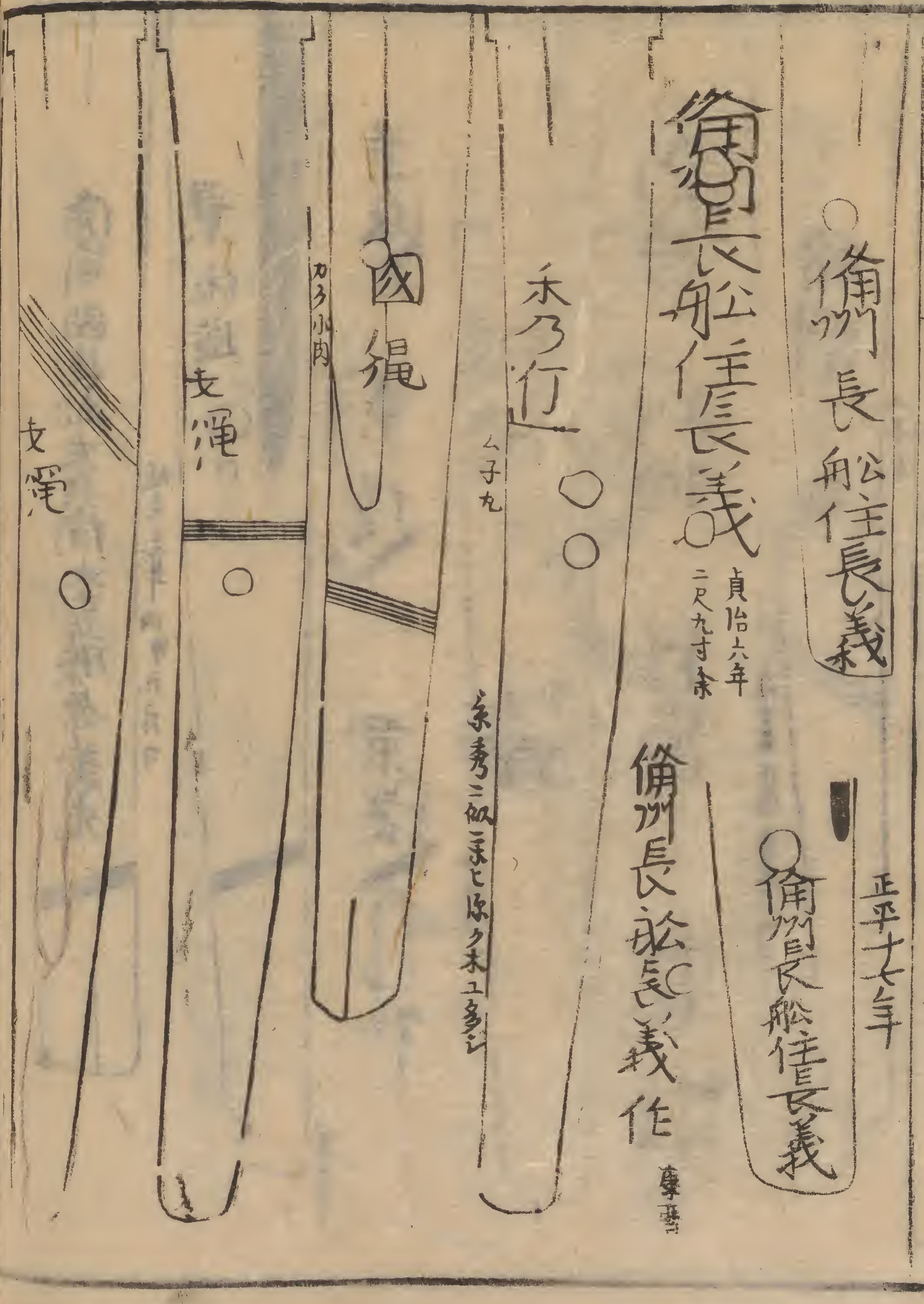

備州長船盛家
應安二年二月
備州長船住景政
遠近
畠田住人
遠近
家助
守真
守家造
始
備前国長船住人守家造
備前国長船住人左上兵衛真守造
備州長船真守
真守
真守
真守

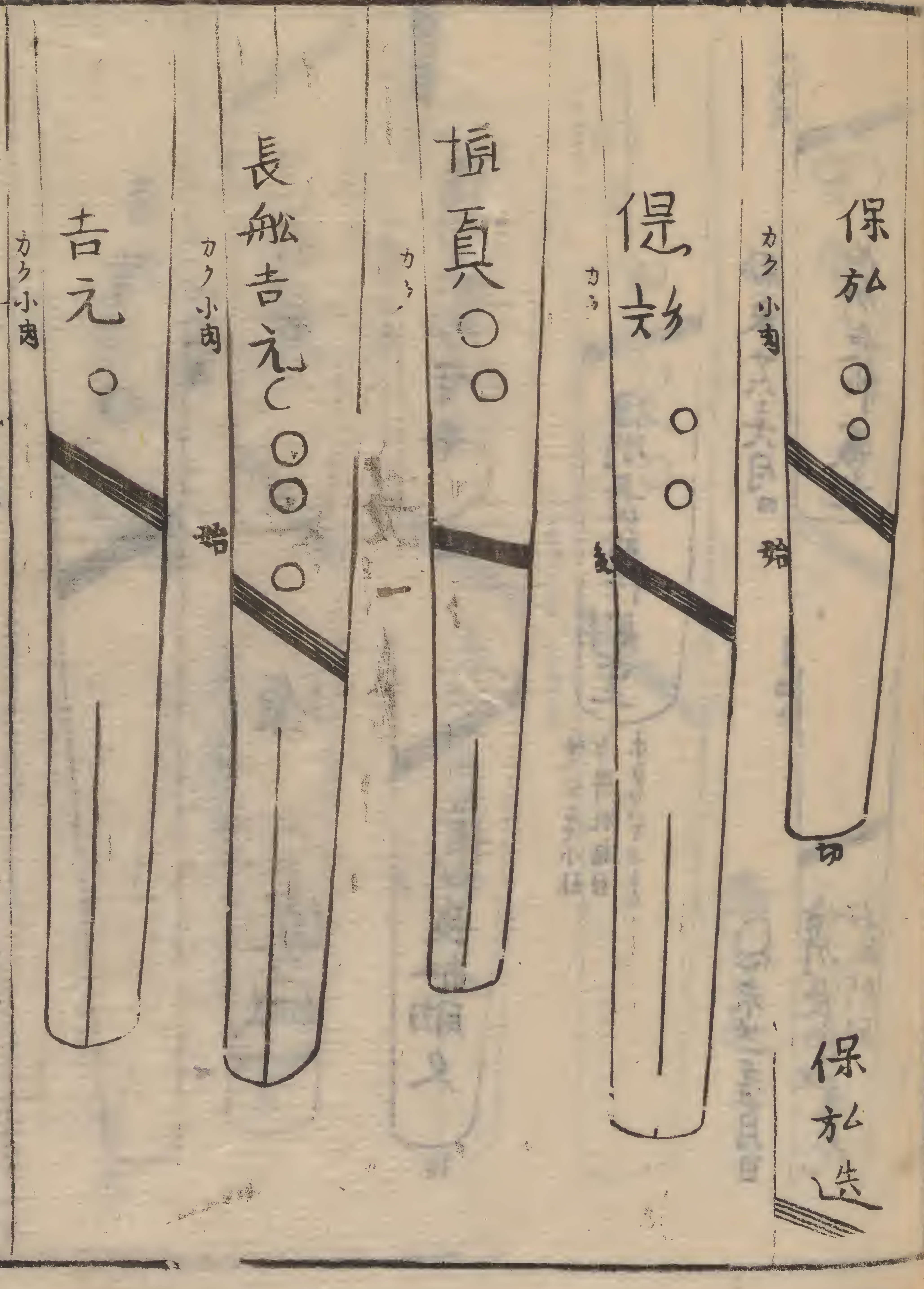

光忠
光忠
光忠造
長船光忠
光忠
長光
長光
長光
長光
長光
切

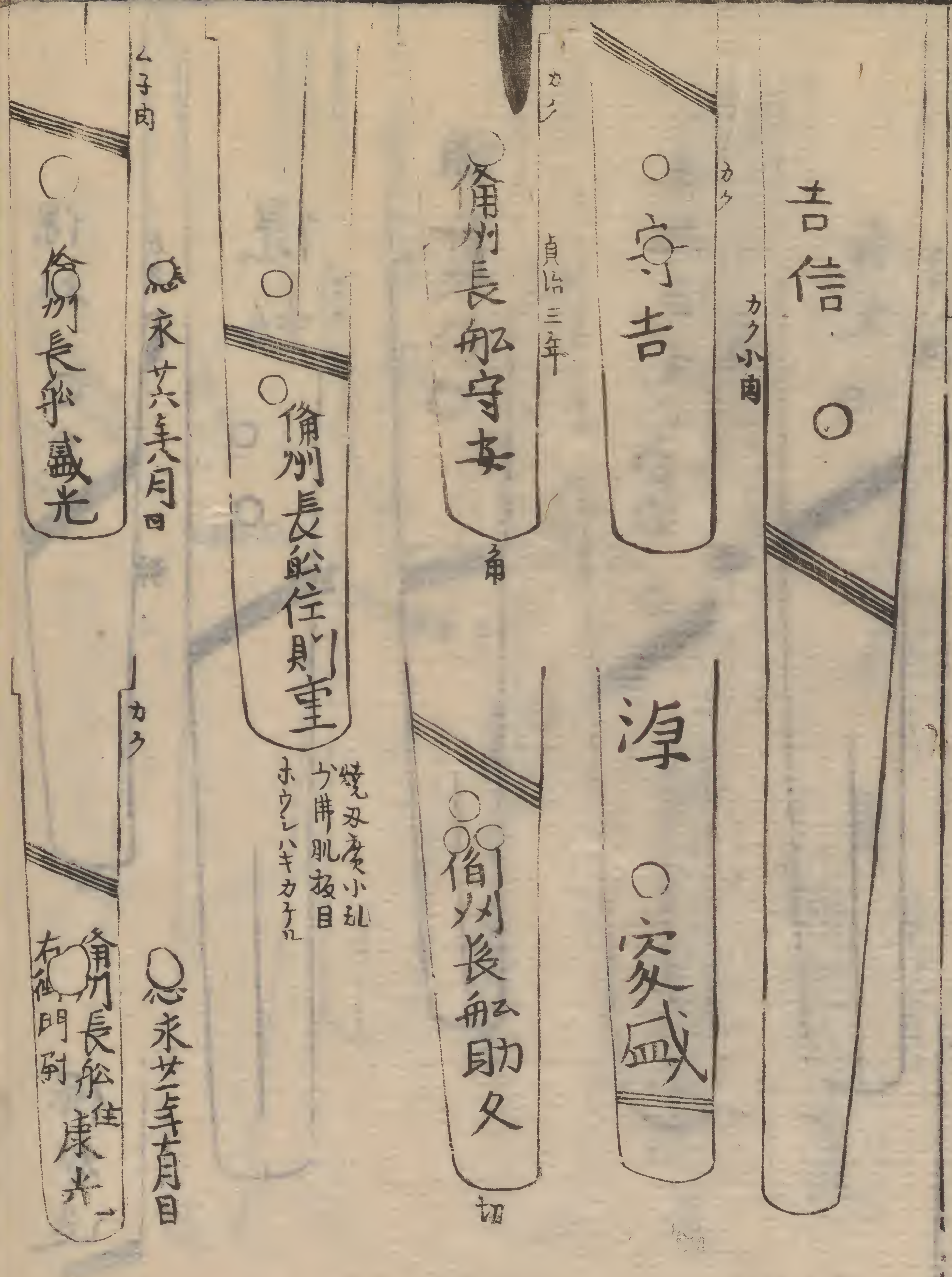


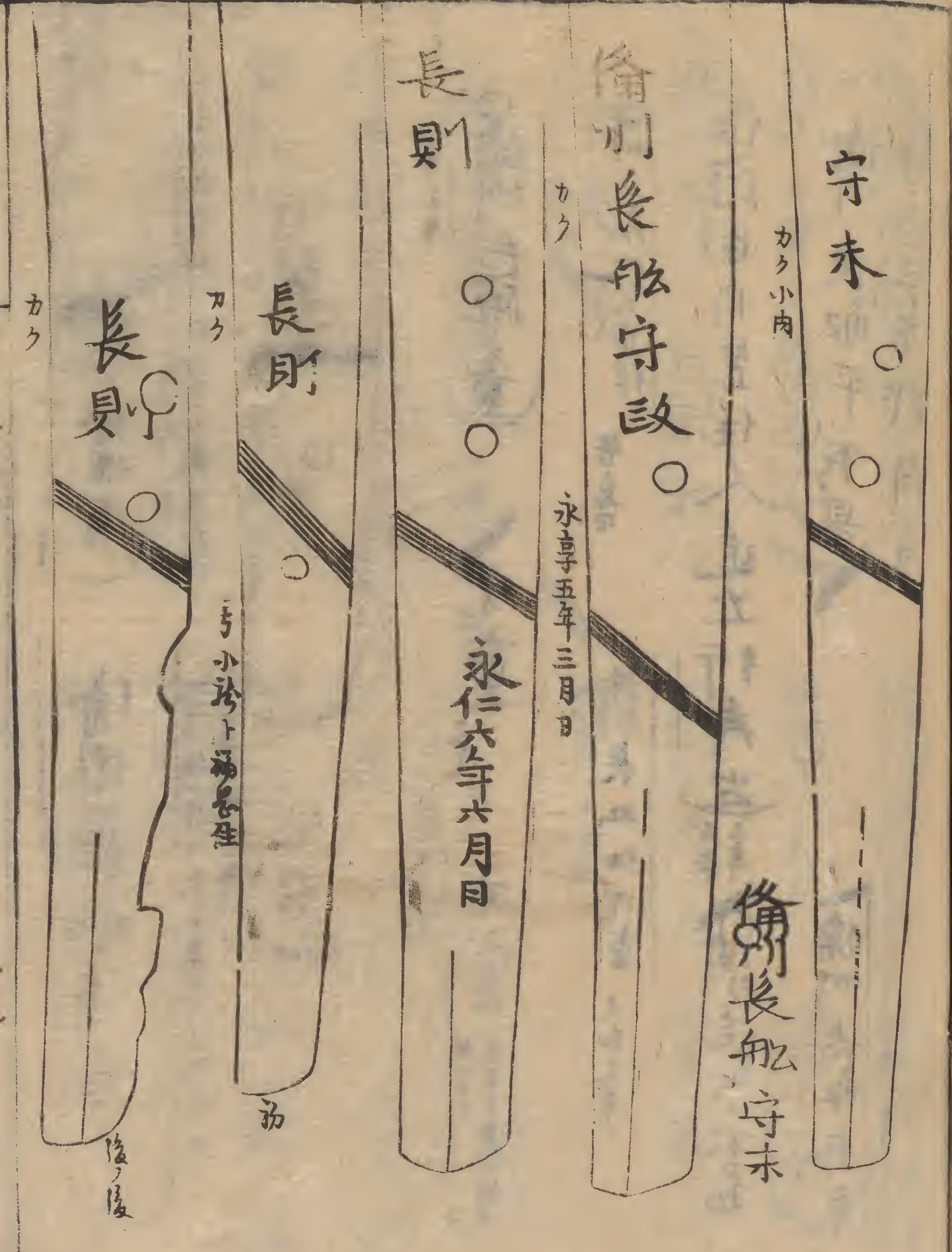
順慶
長光
ム子肉
長光
切
備前國長船住人左近長光造
応二年
月十八日
嘉元元年
備前國長船住長光
長光
備前國長船住長光作
永仁
長光
備前國長船長光造
備前國長船長光造
真長
光忠寸
吉光弟子
出来景光ニ似テ大出来之見先持ス
備前國長船住真長
正和三年八月日
備前國長船住真長造
嘉元二年
備前國長船住真長造
嘉元二年
備前國長船住近景
カク
元亨二年三月日
備前國長船住近景
嘉暦二年
暦応四年
スク刃
備前國長船住近景
嘉元四年
前國長船住景光
備前國長船住近景
建武
スク刃ホウシ丸
カヘリフカシ
備州長船住景光
マク刃
元暦二年十二月日
スク刃カサカ心アリ
備前國長船住
左衛門尉景光
元徳三年三月


備州長船住重真
正慶二年二月日
カク
備州長船光弘
カク
ム子カク
備州長船光弘
貞治三年四月日
永和五年三月日
カク
文五年卯月日
備州長船真光
備前国長船真光
建武三年丙子十二月日
備州真光
備前国長船義光
備前国長船左兵衛大夫藤原義光
延文元年丙申九月日
景依造
ム子カク
景依
景依
景依
景依
スリ本少孔
家光ニ似タリ
景光ニ等
小孔双
利恒
利恒
利恒
利恒
利恒
小孔沸ニ有
下ヽサカ足
野又アリ
造出来正恒
信房ニ似タリ
国則
ム子丸


備州長船住長義
正平十七年
備州長船住長義
備州長船住長義
貞治六年
二尺九寸余
備州長船長義作
秀行
ム子丸
國縄
カク小肉
友縄
友縄


保弘
カク小肉
保弘造
切
長船吉元
カク小肉
吉元
カク小肉


吉信
カク小肉
守吉
カク
淳
家盛
備州長船守安
カク
貞治三年
角
備州長船助久
切
備州長船住則重
焼刃廣小乱
少冊肌板目
ホウレハキカケ九
ム子肉
応永廿六年六月日
カク
応永廿二年十月日
備州長船盛光
備州長船住康光
右衛門尉


守末
カク小肉
備州長船守末
備州長船守政
カク
永享五年三月日
長則
永仁六年六月日
長則
カク
长则
カク
後ノ後

修理亮
ハク刃サ丸仕　梵字アリ　盛光ニ極ル

備州長船清上司

鍛治図ニ似タリ　出来盛光カ石州物ノ如シ
貞享比　五枚ニ極ル

心哲

心哲

正中元年
備州長船元重

元重

元重　壱九
延宝比　百五十貫ニ極ル

備州長船住元重作
暦応

備州長船住元重
文和元年

備前国因笠住人追左行秀造
正平三年

備州長船秀本刀

備州長船平秀景
応仁二年八月日

備州長船秀景
宝徳二年

備前国長船住義景
延文二年

備前国長船住義景
延文三年　スク刃

景安

景安

景安

景安

景秀

景秀

景秀

景秀

景秀

景秀

備州住親次
延文五

備州住親次

親次
刀小乱　肌白ケル　ホウシ丸

備前国宇河住人兵衛尉原為遠

為遠

助長
刃細乱　直近似

助長

助長
スク刃　実生ノ根ナル　ハタアリ

助長
スク刃　小乱

助長
ホウシ丸ク　小乱ニ長ニ似リ

助長
太刀ニ　詫象ニ似タリ　スク刃　足アリ

助長

備州長船助村

備前助村

備州長船貞光 貞治六年

備州○長船吉光 永享二年 乱刃

○助氏 応永廿二年 小乱カヘリフカシ

康永 アサキ大クノメ 小クノメ交

備州○長船康永 応永廿九年

備前國住貞次 永 年八月日

○備州長○船基正 康安

備州長船重家 康安元年

備○州長船住長重

備州長船貞光 永恒二年 スク刃ホウレトカリ 後ホハタナリ

○吉光

助代 スク刃カシ乱

康永 サカ乱ニツ小クノメ交 石セ 応永二年

備州長船主長田兵衛尉 藤原吉長 目切 クノメ

前國長○則貞利 上

備○前國○長船住守重 正和五年

備○州長船基重

備州長船住岩野利行 建武元年

備州長船行光

備前國長船住長元 応元

○備州長船時綱○ 家ちノゴトシ

備前國弘真○

則宗作 一文字トハ別人末作

是友○ 小乱刃交シ或ハ古ヒセンカ

備州住○李次 文和二年 造刃スク刃 かサカ足

国行 小乱刃 刃ノ上木工立肌白ケル

利守 小乱 コレ刃アリ ホウシ丸ニエル

備州長船友光

備州長船貞末 明徳

備○州長船信安 応安

備○前國弘安

長船助友

備前國住成縄 貞治二年

備州住○金次 明徳二季 太刀 辛未 刀也

○景久 小クノメ守次ニ似タリ 貞治応永ノ比

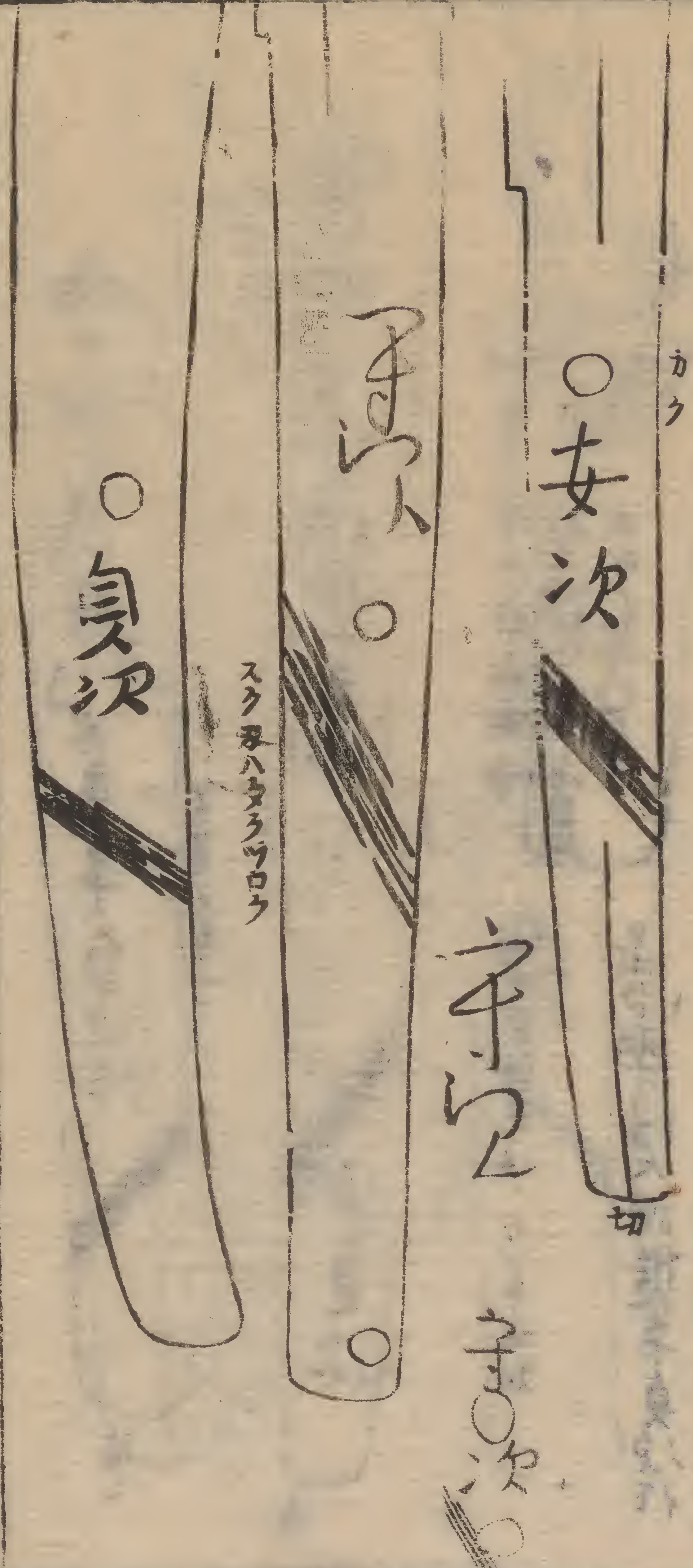
則宗作 大刀法光忠光佐

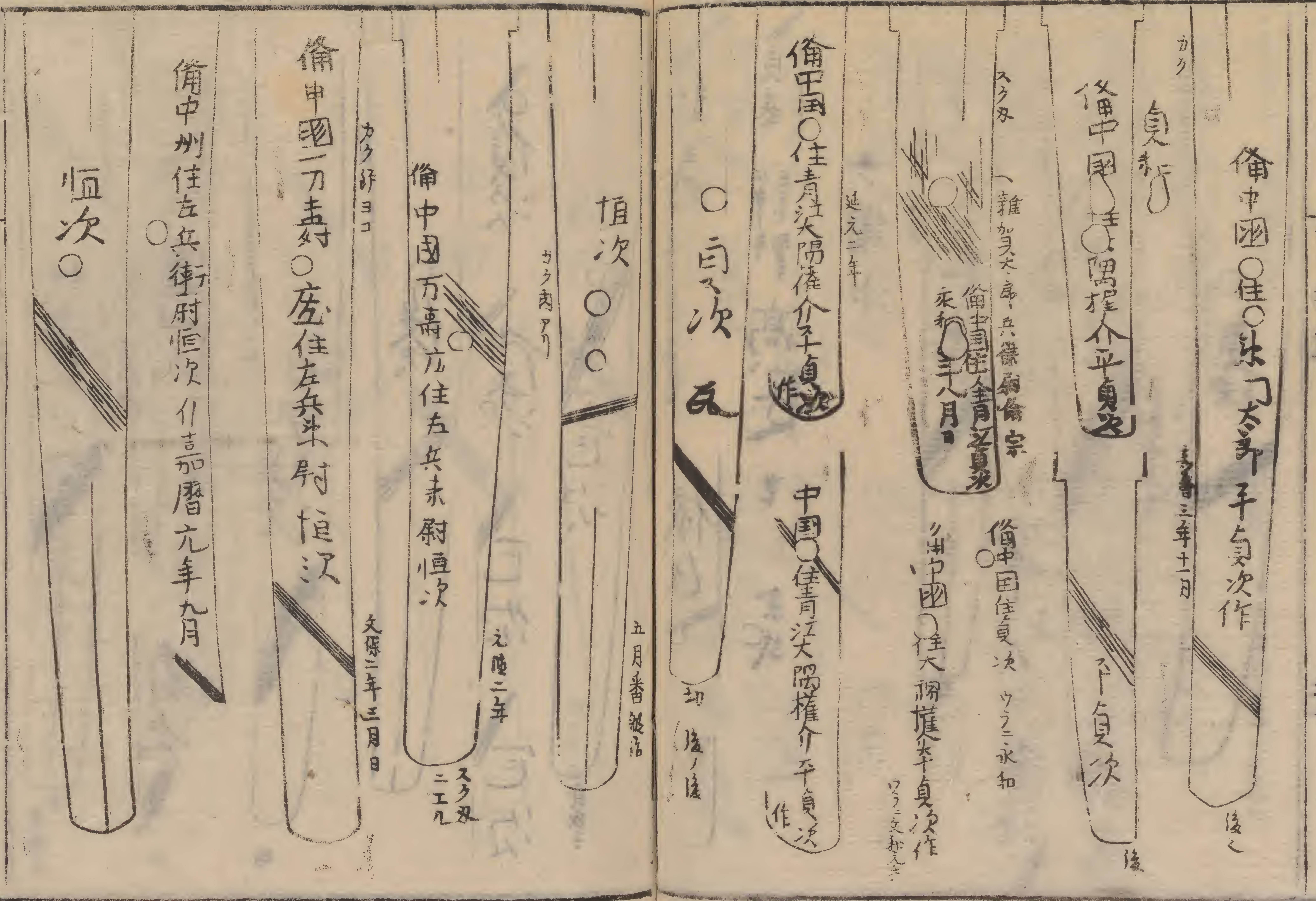
守利　盛光ノコトヽ
○鳥利　刀小丸又度〻
光近
光近
光守○
光守
近吉
近吉
秀貞
家忠
守ち又造
守利
信実
真髭○
秀三二人
則　吉国大　吉井コトヽ

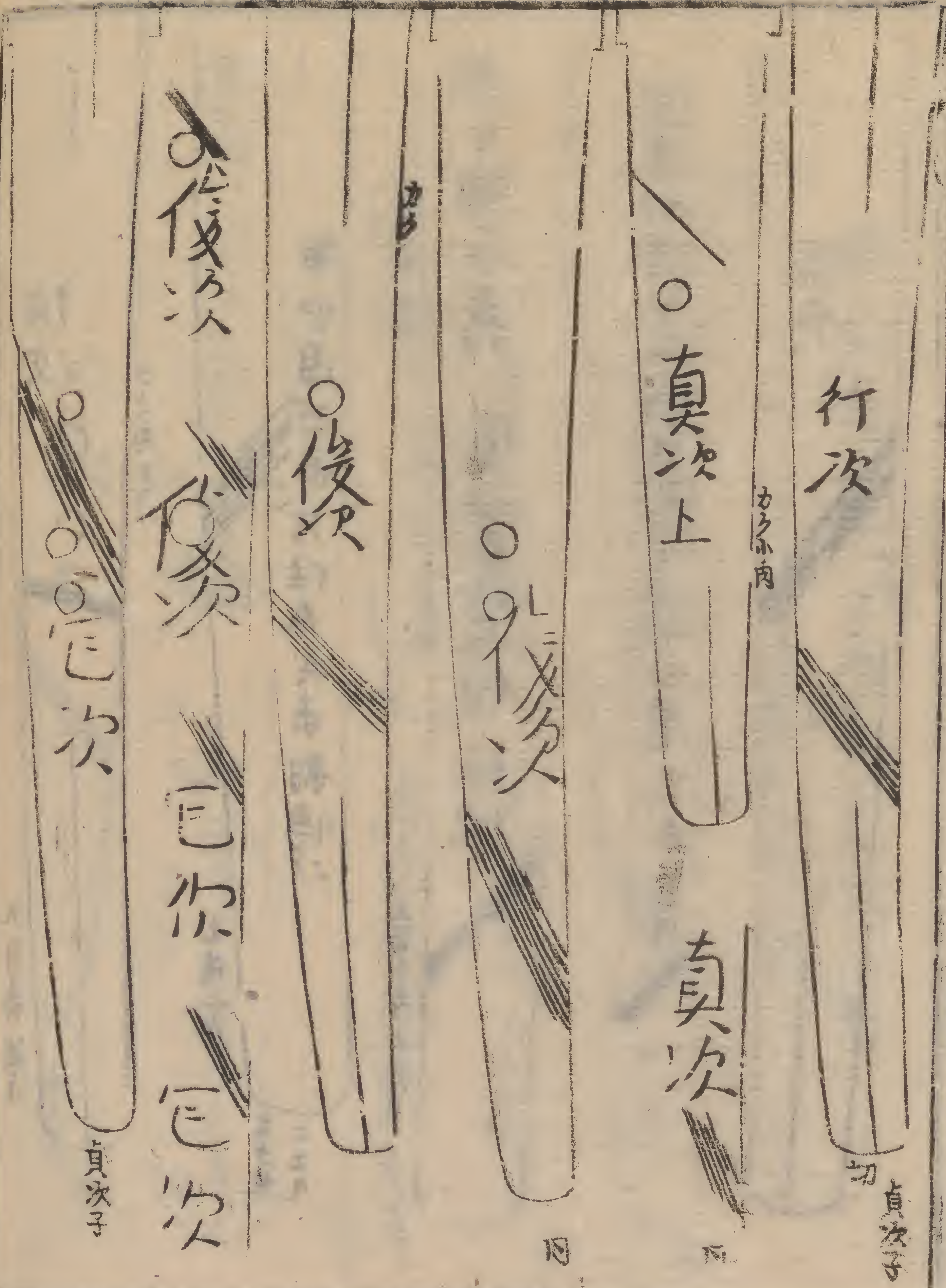
守景　ガノ又並又ガ津　ハキカケ九
則久　クノメ新刀ノ　古キ吉井カ
基近造
基近造
則継
則包
信貞
近信
忠近
師景　クノメ丸
重次　生次二級
重直
国清○
真高

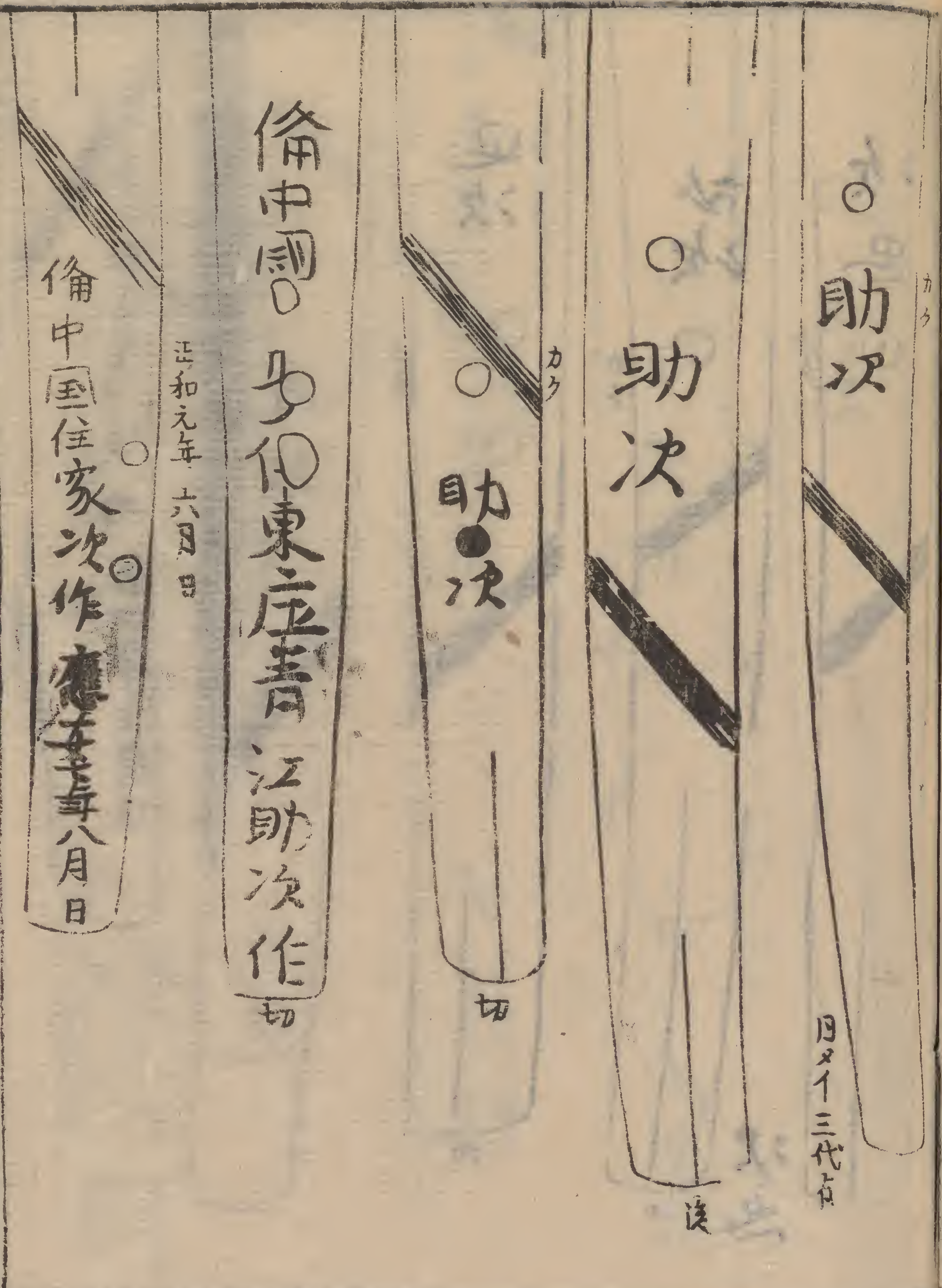
経○王我　吉光ノコトヲサカ見ヘ
依氏○
長基　仏安十年　吉光二級タリ
高度
吉
宗弘

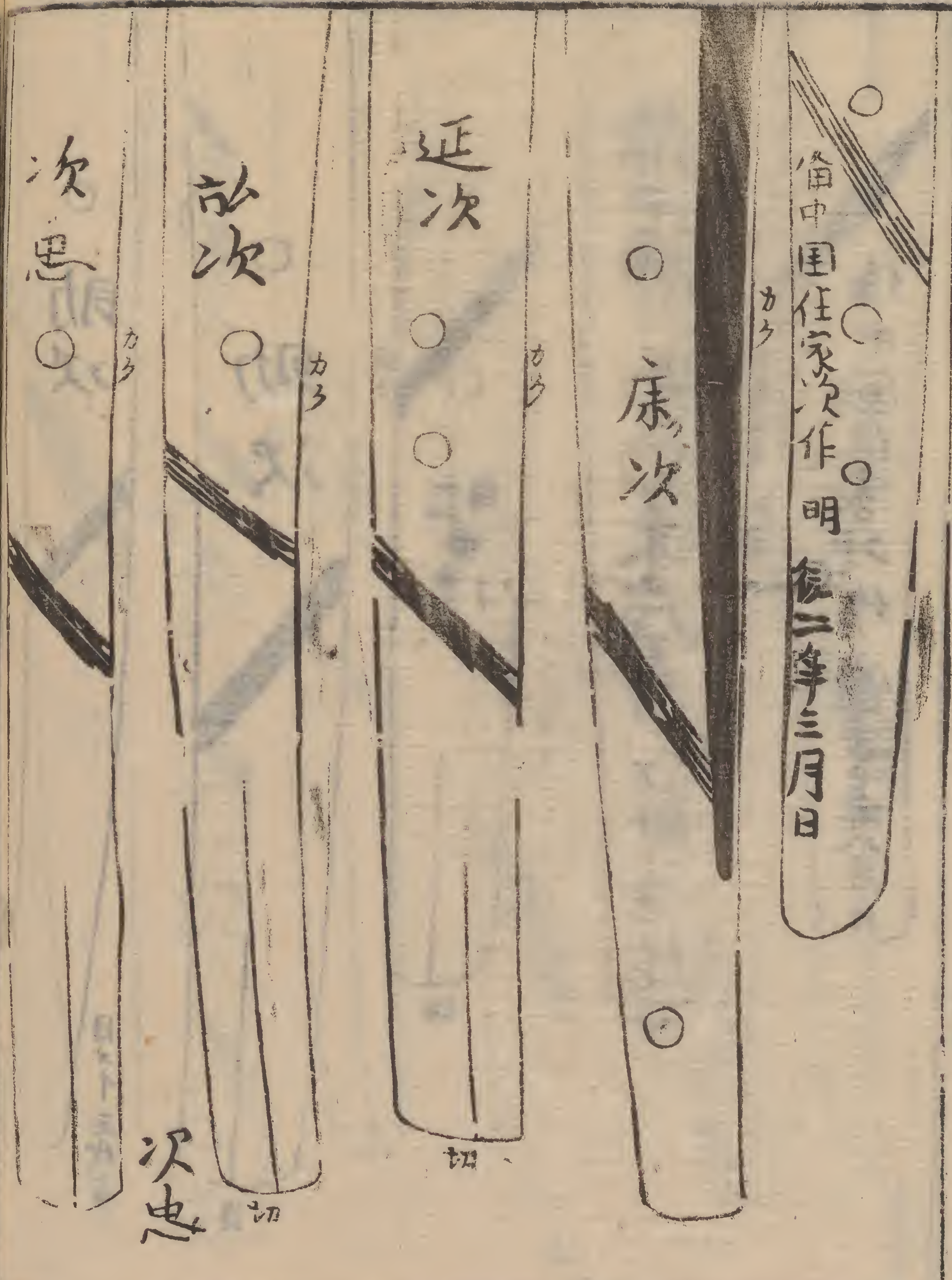
▲備中

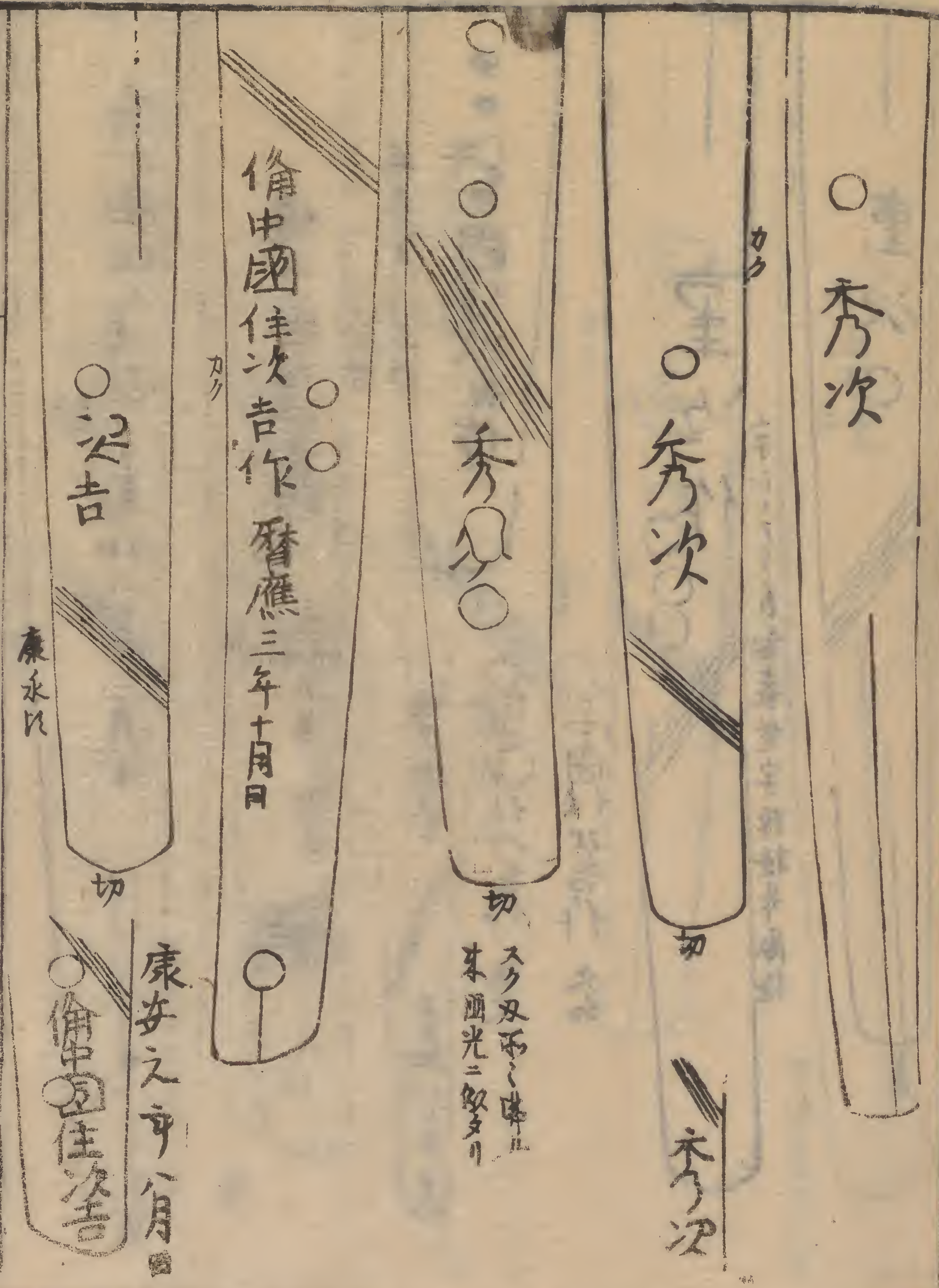


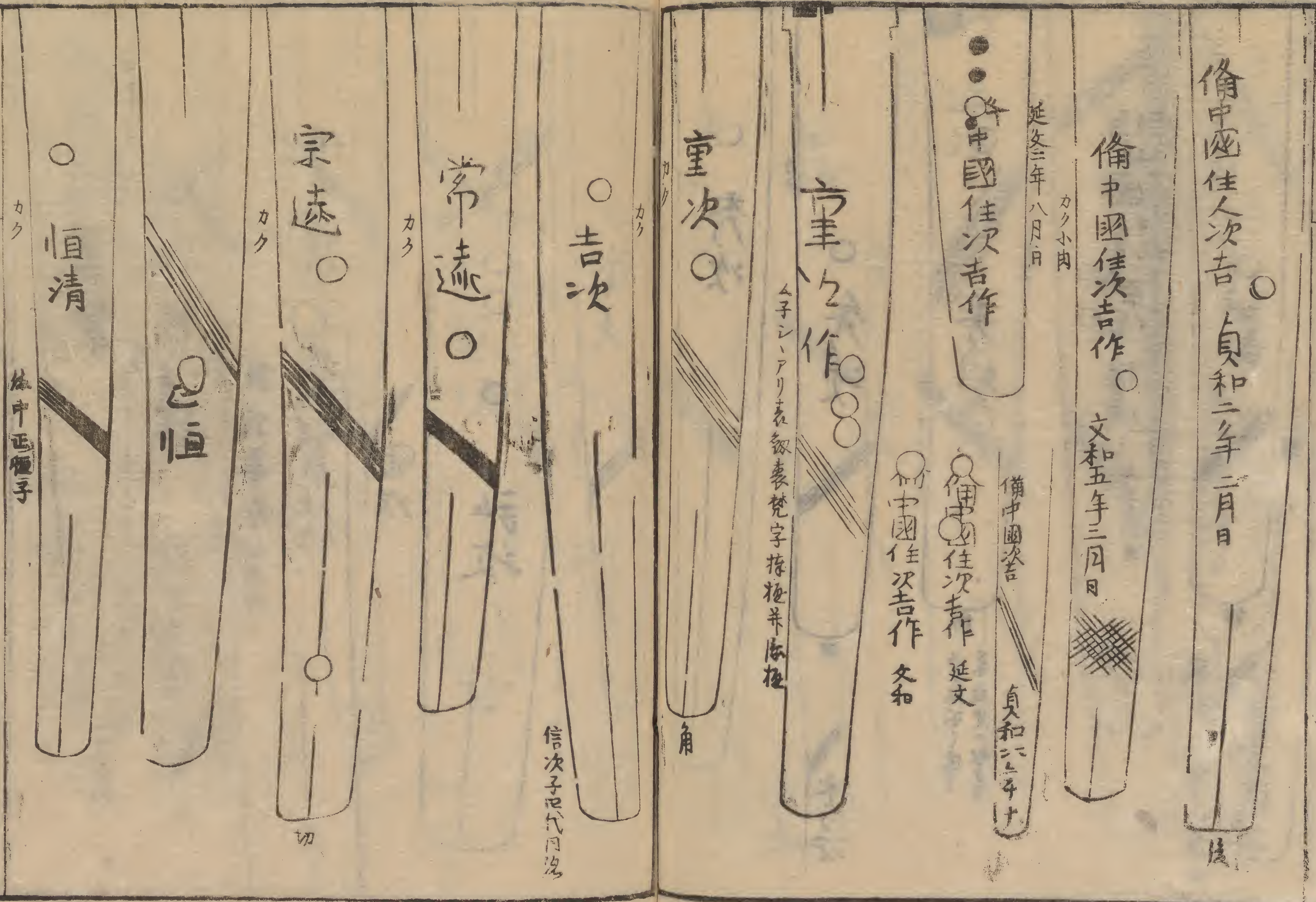

備中国○住○朱刀太郎平貞次作
長享三年十一月
後之
カク
貞和
備中国○住○陽権介平貞次
ス卜貞次
後
スク双
一雑賀太郎兵衛尉備宗
備中国住青江貞次
永和二二八月日
備中国住貞次
ウラニ永和
ク
備中国○住大隅権介平貞次作
ウラニ文和元二
延元二年
備中国○住青江大隅権介平貞次作
中国○住青江大隅権介平貞次作
○貞次
切
後ノ後
恒次
○
○
カク肉アリ
五月番鍛冶
備中国万寿庄住左兵衛尉恒次
元徳二年
スク双
カク鑢ヨコ
備中国一万寿○庄住左兵衛尉恒次
文保二年三月日
備中州住左兵衛尉恒次
○
作
嘉暦元年九月
恒次○


行次
切
貞次子
貞次上
カクル肉
真次
同
後次
後次
同
後次入
後次
後次
巳次
巳次
巳次
巳次
貞次子

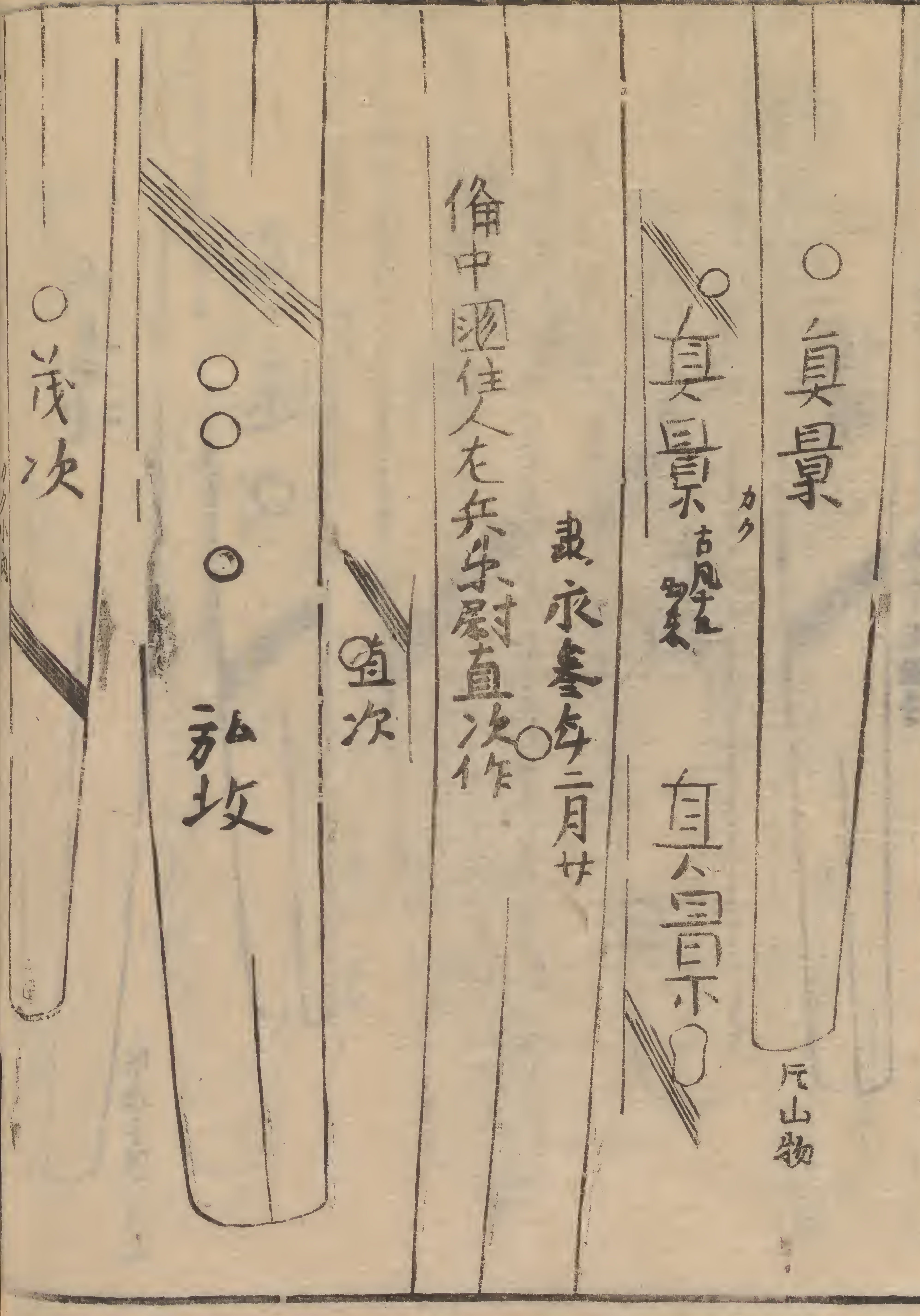

カク
助次
月メイ三代貞
助次
浅
カク
助次
助次
切
備中國住東庄青江助次作
正和元年六月日
切
備中国住家次作
應永十年八月日

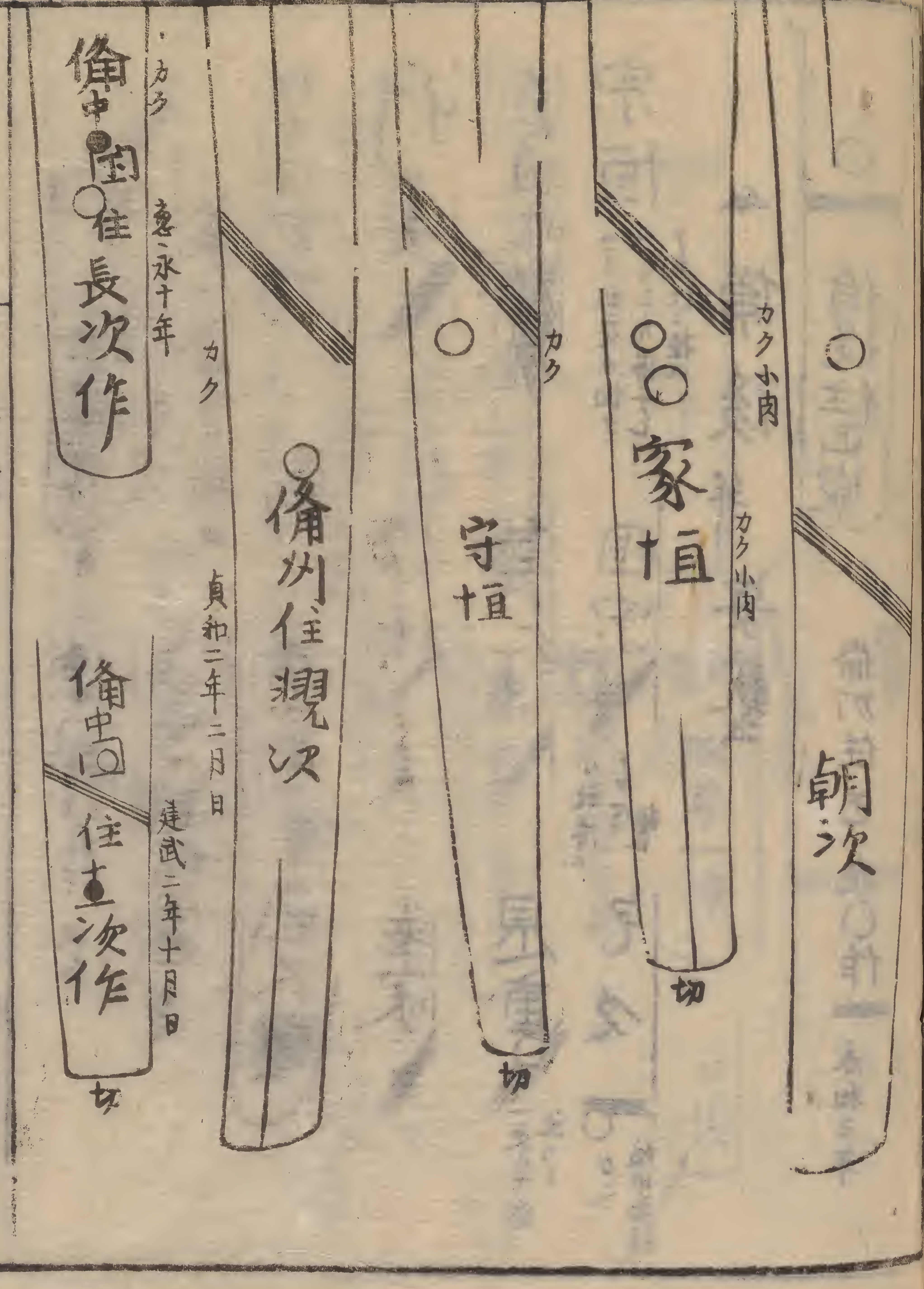

備中国住家次作
明徳二年三月日
カク
康次
カク
延次
カク
切
弘次
カク
切
次忠
カク
次忠

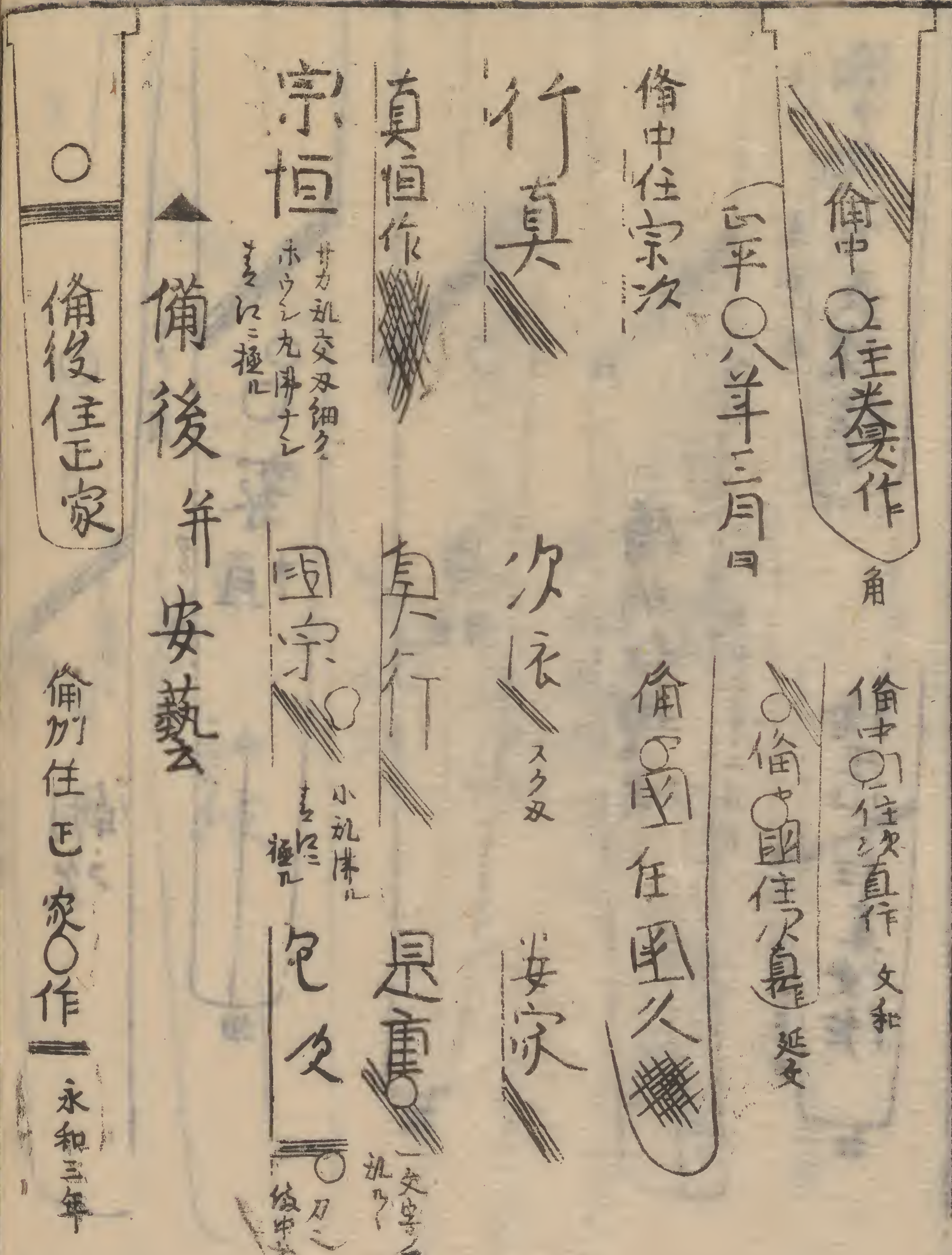

秀次
カク
秀次
切
秀次
秀次
切
スク刃而く味
来国光ニ劣リ
備中國住次吉作
暦應三年十月日
カク
次吉
康永比
切
備中国住次吉
康安元年八月



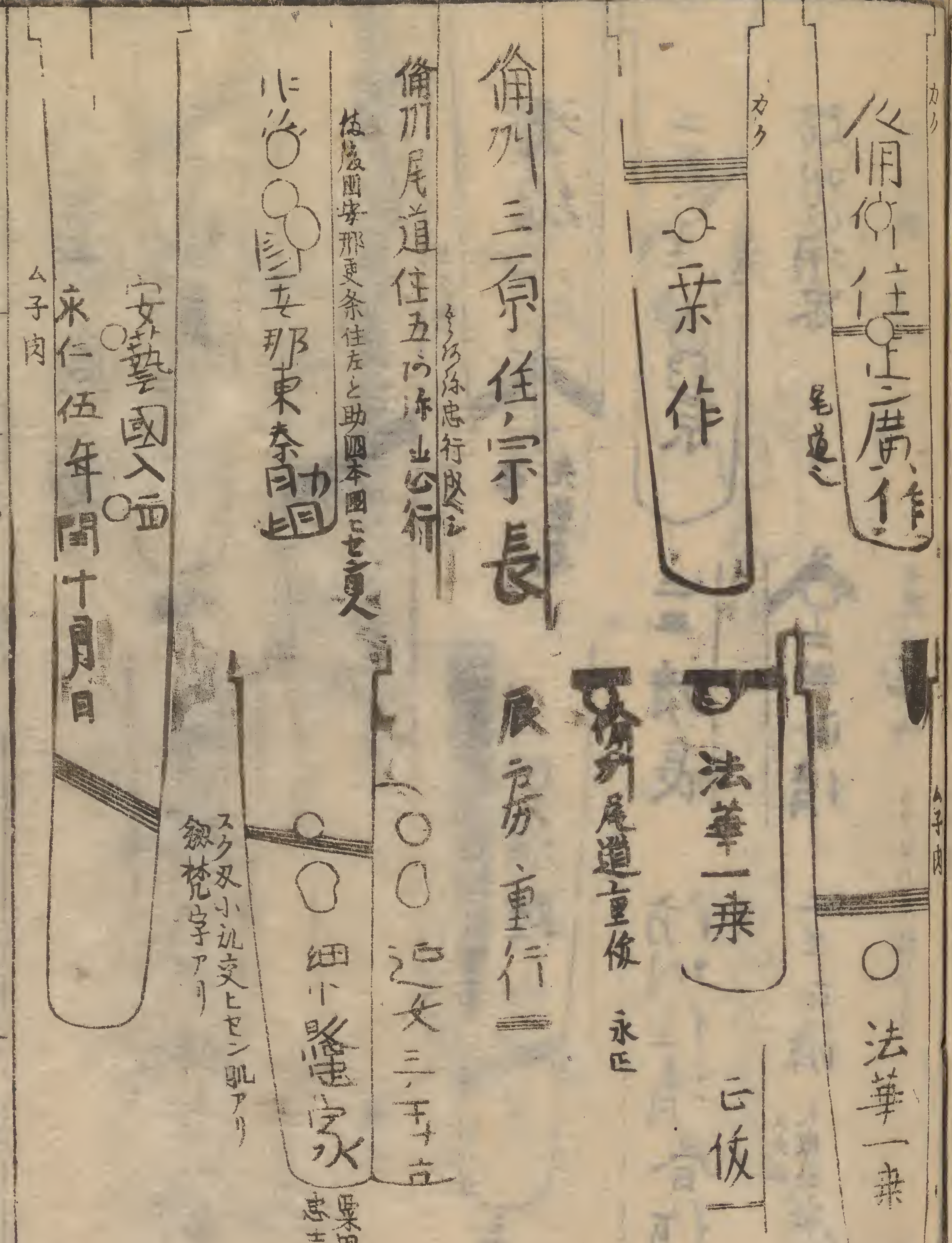
備中國住人次吉 貞和二年二月日
後
備中國住次吉作
文和五年三月日
延文三年八月日
カク小肉
備中國住次吉作
備中國次吉
貞和六年十
備中國住次吉作
延文
備中國住次吉作
文和
重次作
ム子シヽアリ表劔裏梵字掭樋并添樋
カク
重次
角
カク
吉次
信次子已代同浄
カク
常遠
カク
宗遠
切
巴恒
カク
恒清
備中正恒子


貞景
尻山物
真景
カク
備中國住人右兵衛尉直次作
康永参年二月廿
直次
弘次
茂次


朝次
カク小肉
家恒
切
守恒
切
カク
備州住
貞和二年二月日
備中國住長次作
カク
備中國住直次作
建武二年十月日
切

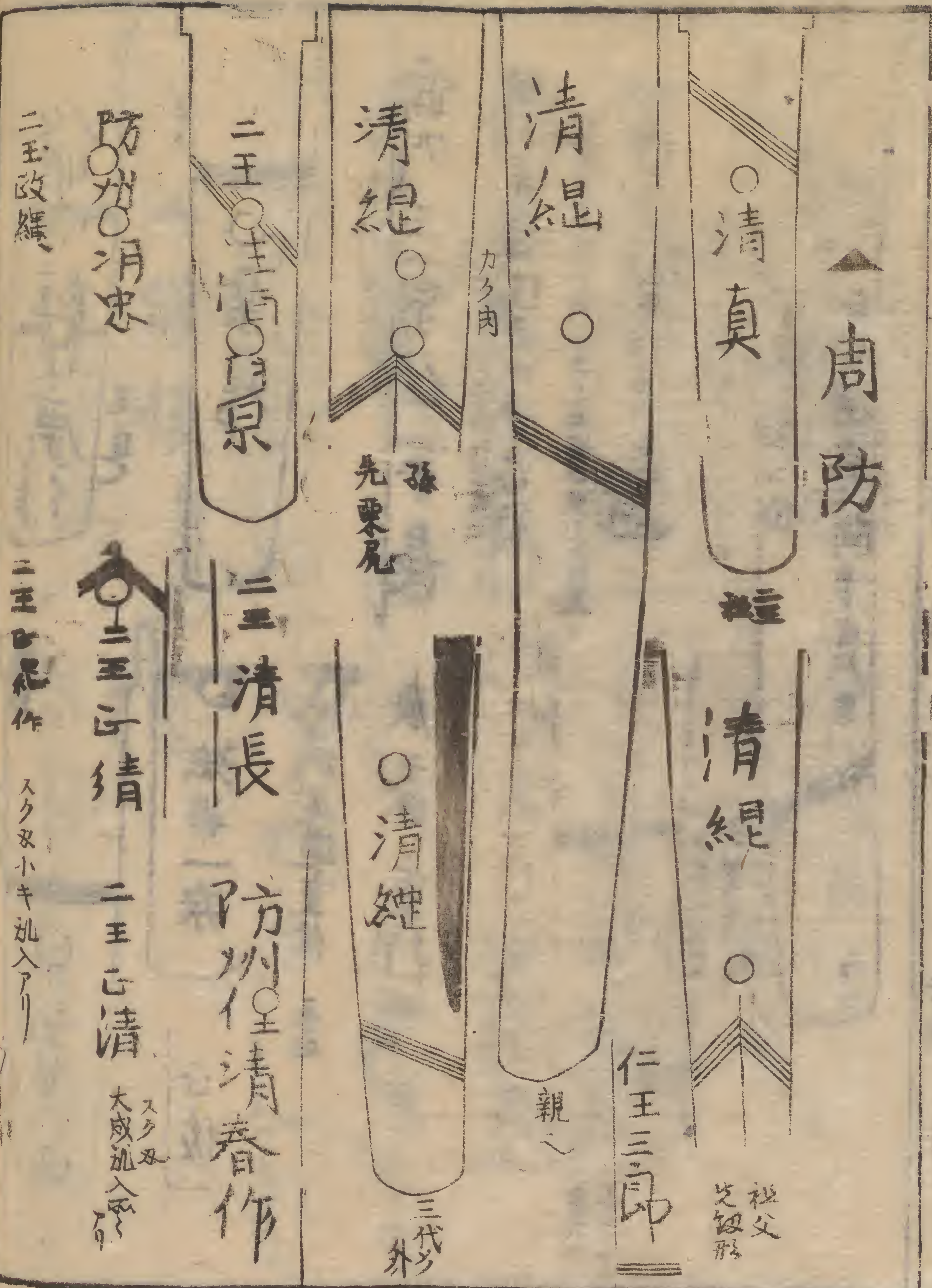


備中国住康次作
正平八年三月日
角
備中住宗次
備中国住次直作
文和
備中国住真
延文
備中国住国久
行真
次依
スク刃
安家
真恒作
真行
是真
一文字振
丸ク
刀ノ
備中ニ極ル
宗恒
サカ丸交刃細ク
ホウレ丸帯ナル
キレニ極ル
国宗
小丸帯ル
キレニ極ル
包次
▲備後并安藝
備後住正家
備州住正家作
永和三年

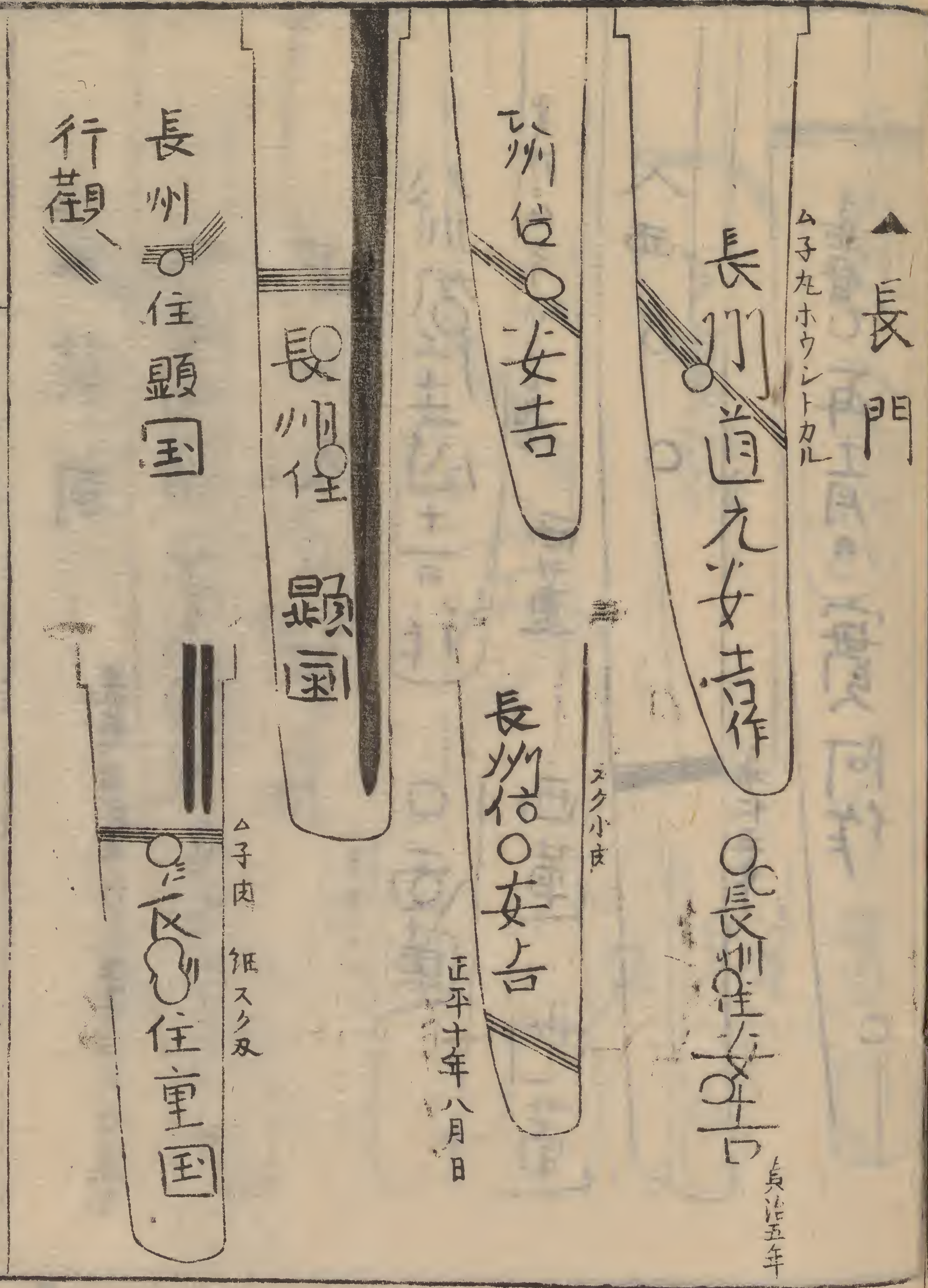


カク
備州住正廣作
子肉
法華一乗
来作
法華一乗
正依
備州三原住宗長
辰房重行
備州尾道重依
永正
備州尾道住五阿弥
備後国安那東条住
小谷
近安
三十二
細小
隆家
栗田口
忠吉子
安藝国入西
永仁伍年閏十月日
ム子肉
スク刃小乱交ヒセン肌アリ
梵字アリ

周防

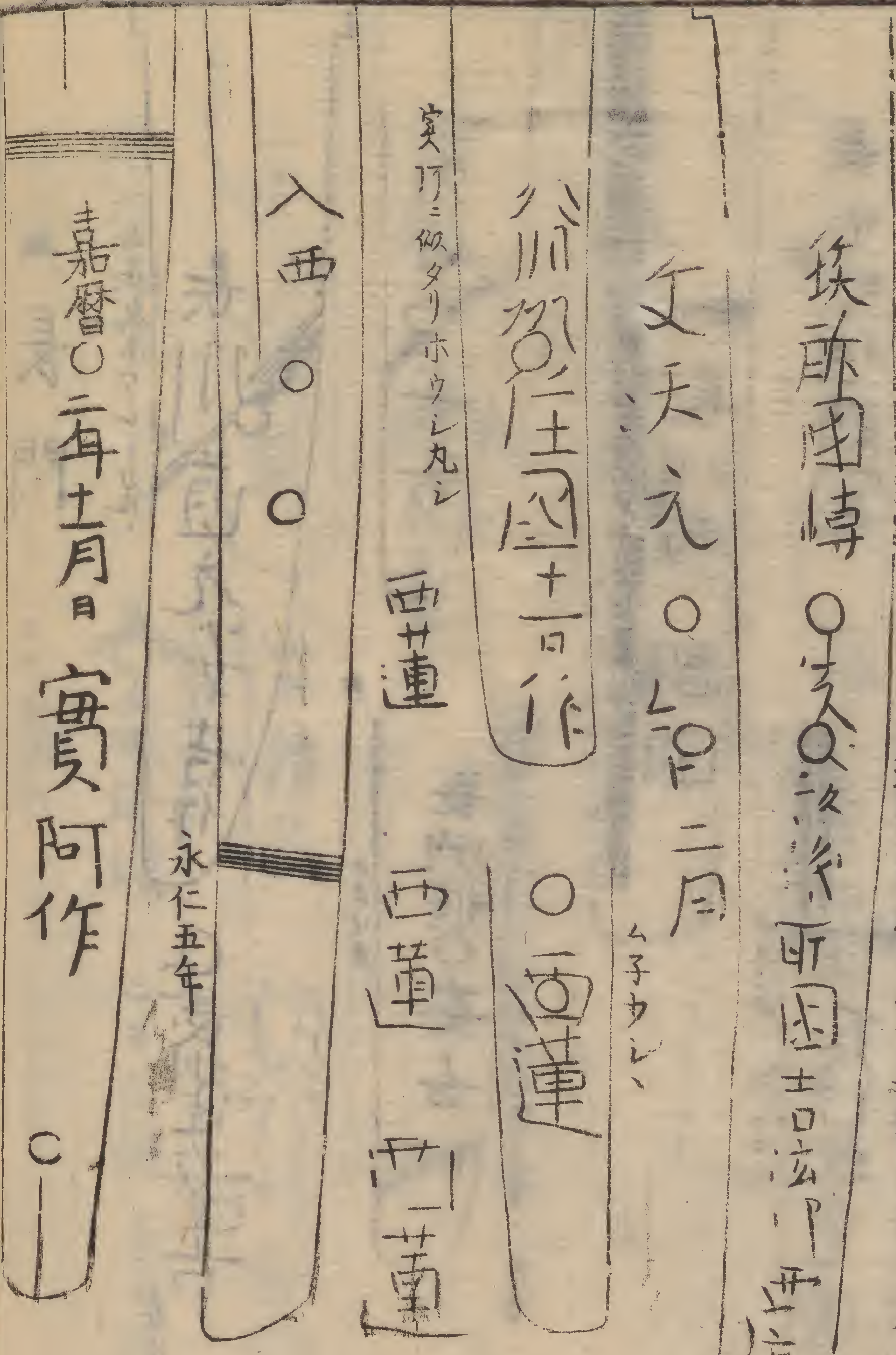

○清真
清綱
○
仁王三郎
祖父
先収形
清綱
○
親
清綱
○
○
カク肉
孫
先栗尻
○清綱
三代ワ外
二王
清原
二王
清長
防州住清春作
防州清忠
二王改綱
二王正清
二王正清
スク又小キ批入アリ
二王清綱作
スク又
大成批入アリ

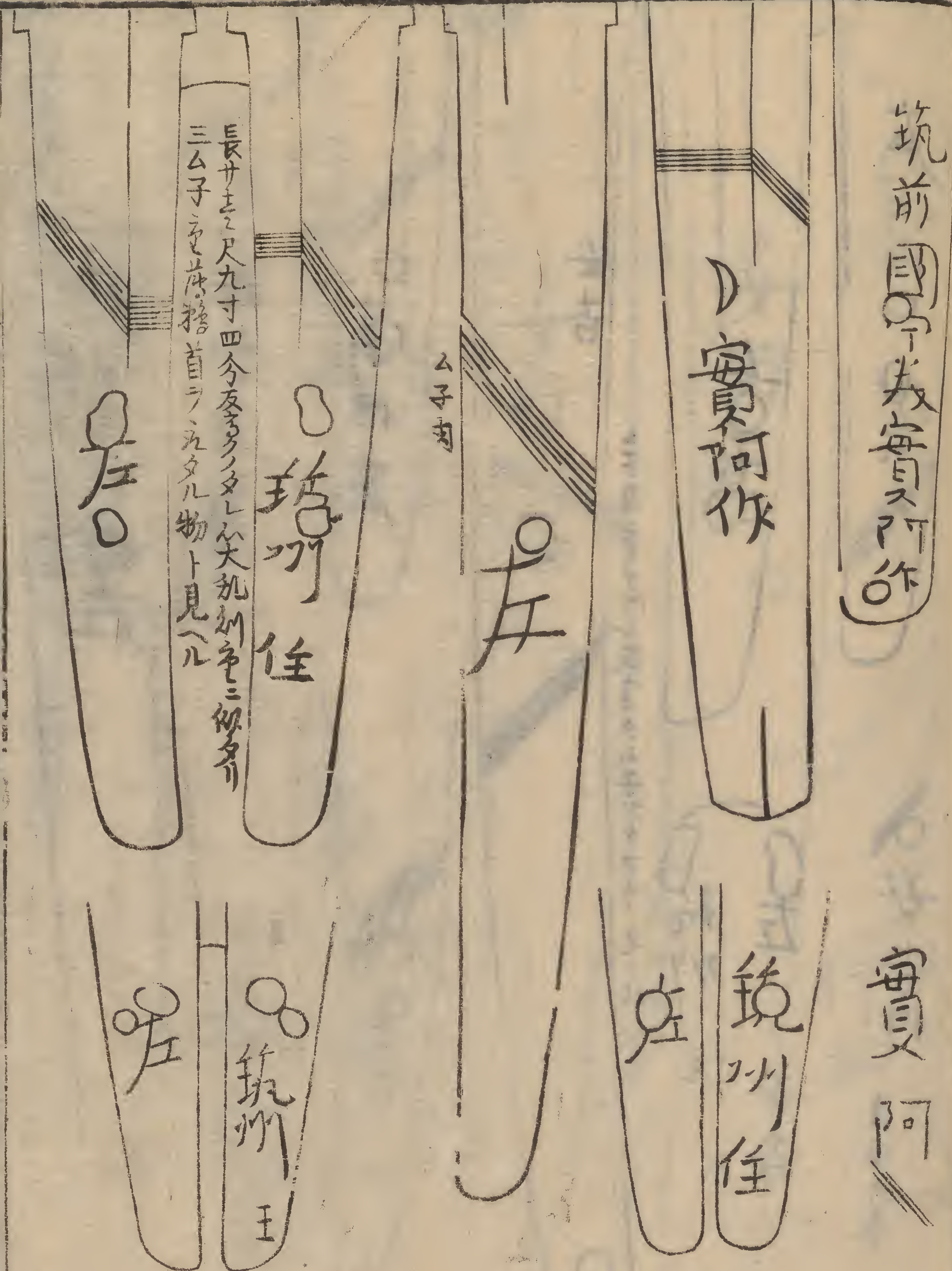
長門

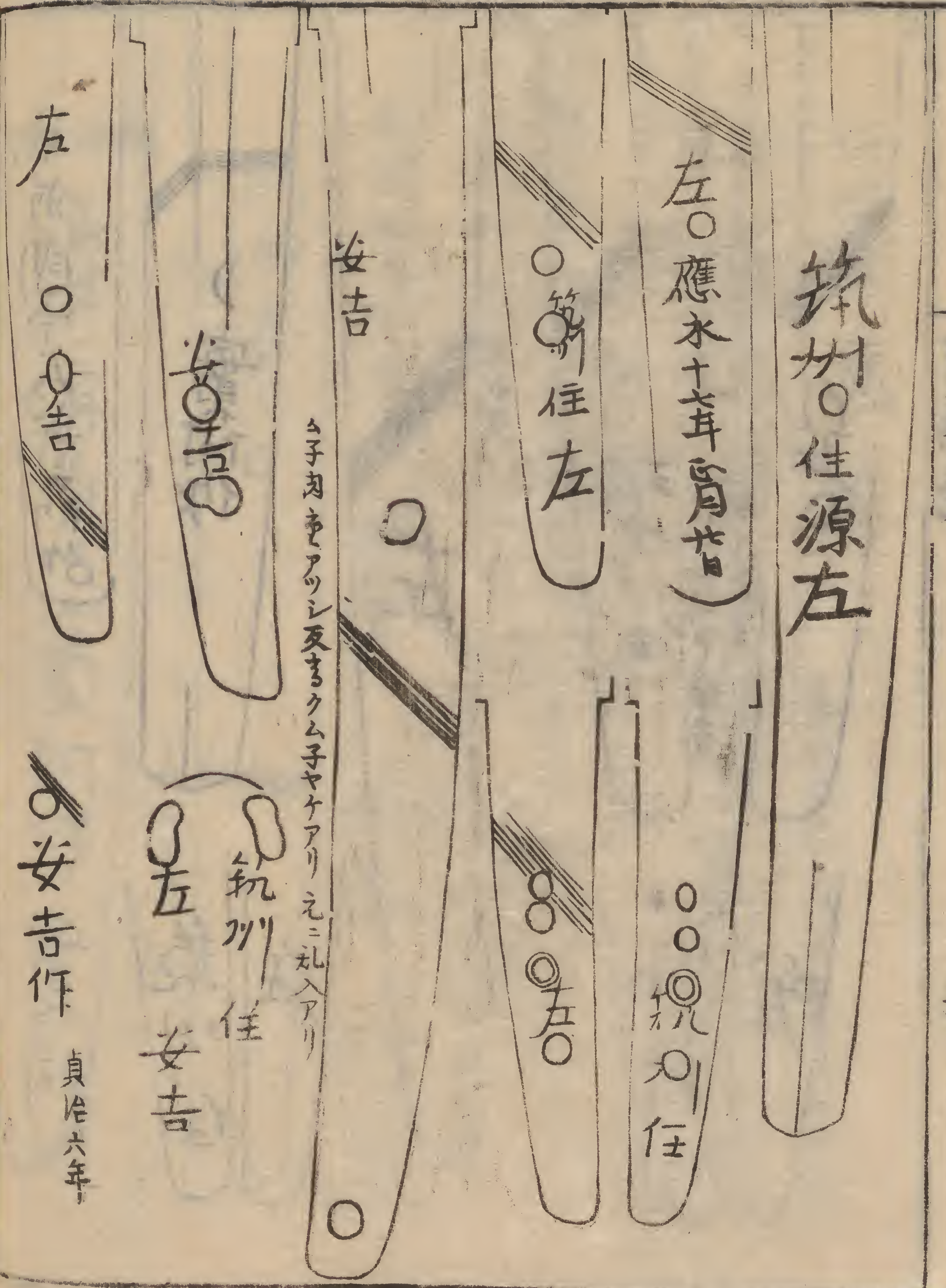

ム子丸ホウレトカル
長州道元安吉作
長州住安吉
貞治五年
州住安吉
長州住安吉
スク小肉
正平十年八月日
長州住顕国
長州住顕国
行観
ム子肉
但スク又
長州住重国

筑前

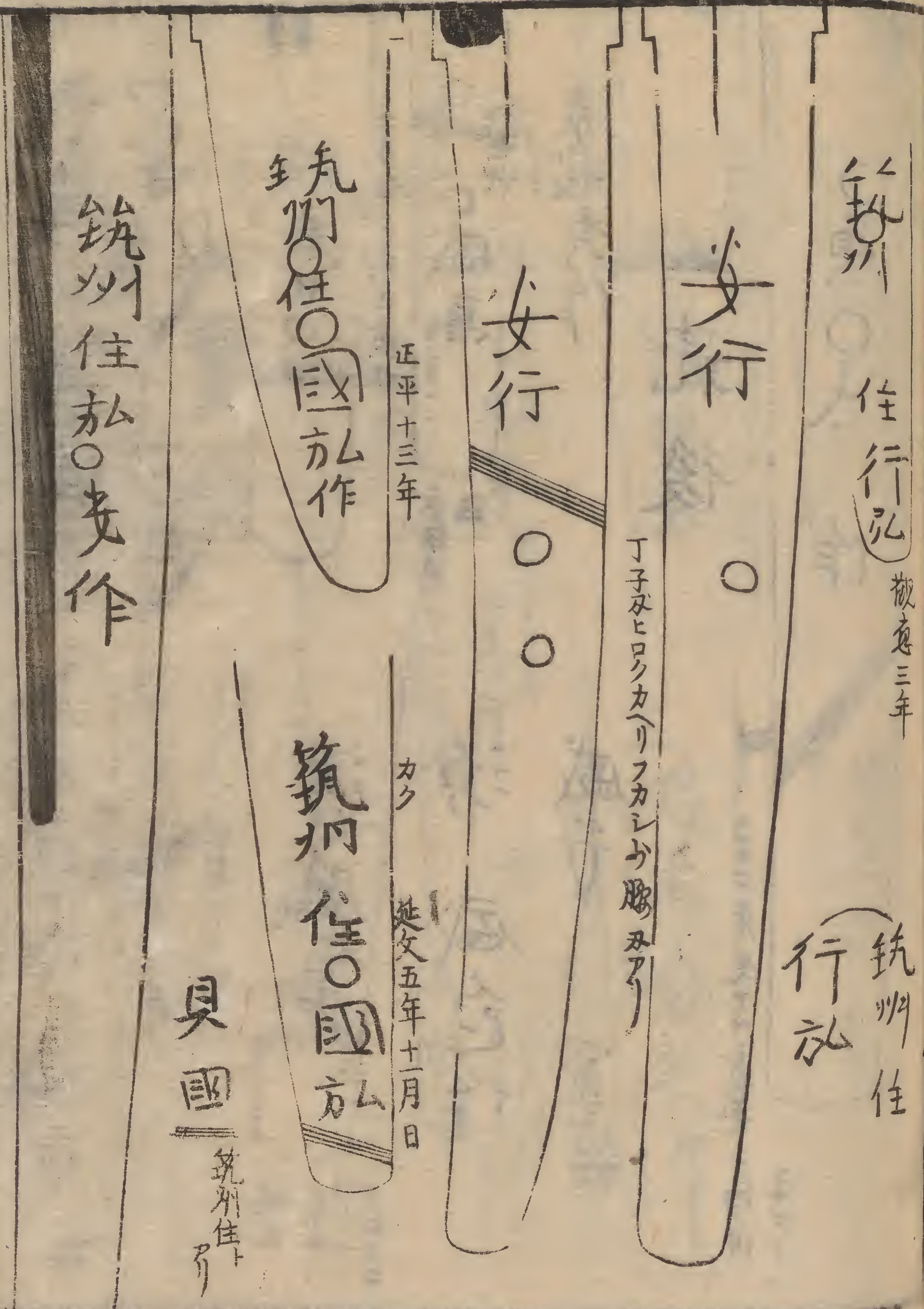
筑前國博多談義所國吉法師西蓮也







筑州○住源左
左○應永十年
○筑州住左
筑州住
安吉
小子肉重アツシ反ミクムネヤケアリ 元ニ丸入アリ
左
筑州住
安吉
安吉
左
○吉
安
安吉作
貞治六年



筑州住行弘
觀應三年
行弘
筑州住
安行
丁子ヌヒロクカヘリフカシ小肥ヌアリ
安行
筑州住○國弘作
正平十三年
筑州住○國弘
カク
延文五年十一月日
貝
國
筑州住トアリ
筑州住弘○安作

ム 安
吉貞作

定吉作
定吉

ムチ肉
吉貞作
○吉光
貞吉

親也
父孫安吉
孫小レ
永和年中

六所住金剛兵衛祖
カク
盛高

○盛高
永徳比
孫

刄角ウスレ
源○盛高

源盛秀作

源盛包作

盛安
一文字盛

▲
筑後

○典○太作
ム子刄角先アロシ乱玄子細ニ沸
匂アサシ

小肉
○典太

典○太作
ナレハタ
王目

スク刄少乱ヨク沸スナカシ杢アリ
三池住典太

三池住頼久作

表
敦永
チクセン

裏
武永
チクニ

ム子ザレ
筑州住
○助永作
正長二年
西蓮ニ似タリ

世呂ニツクシ信國ト云ナルヘシ スク刄

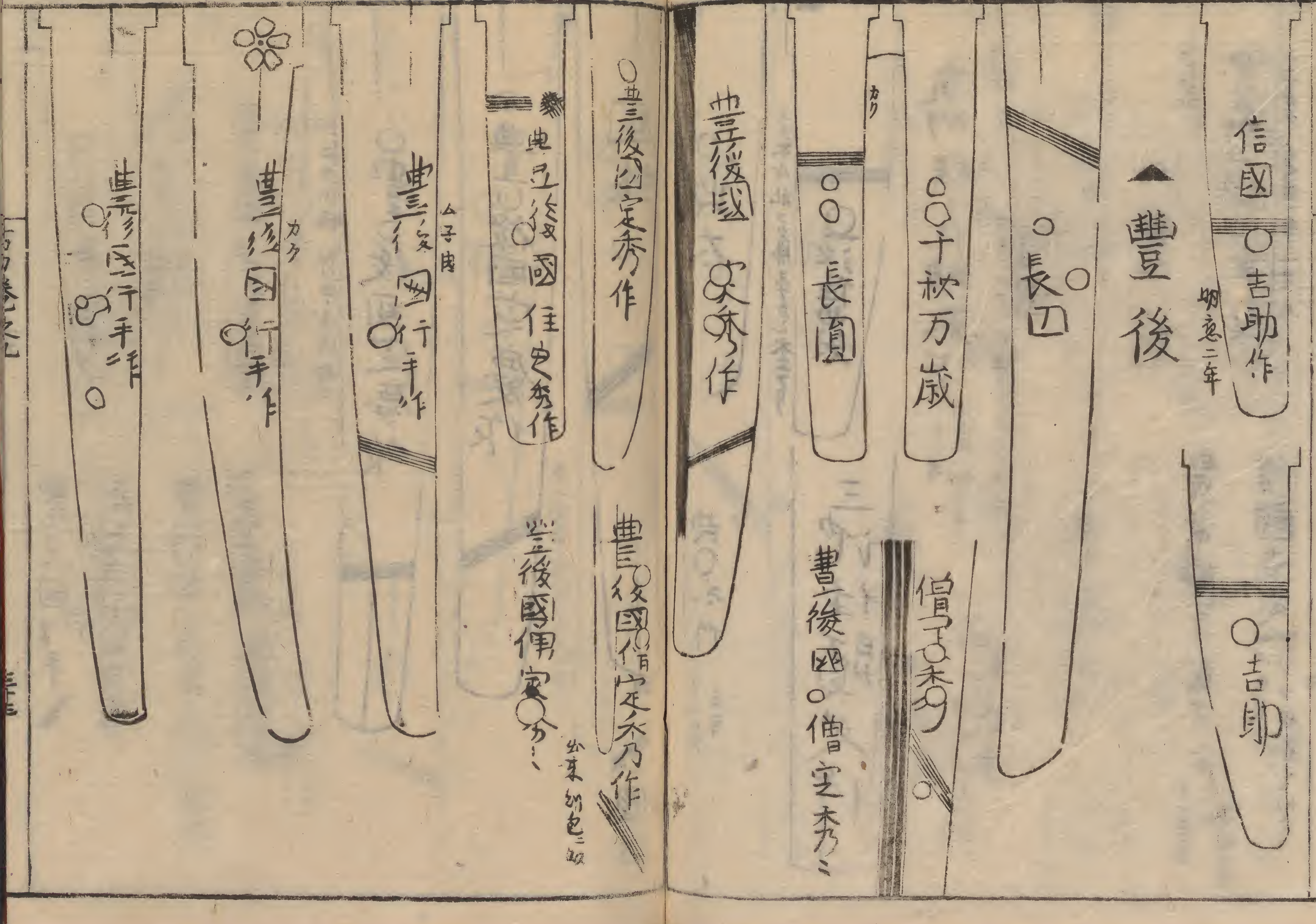
○
信國

▲
豊前

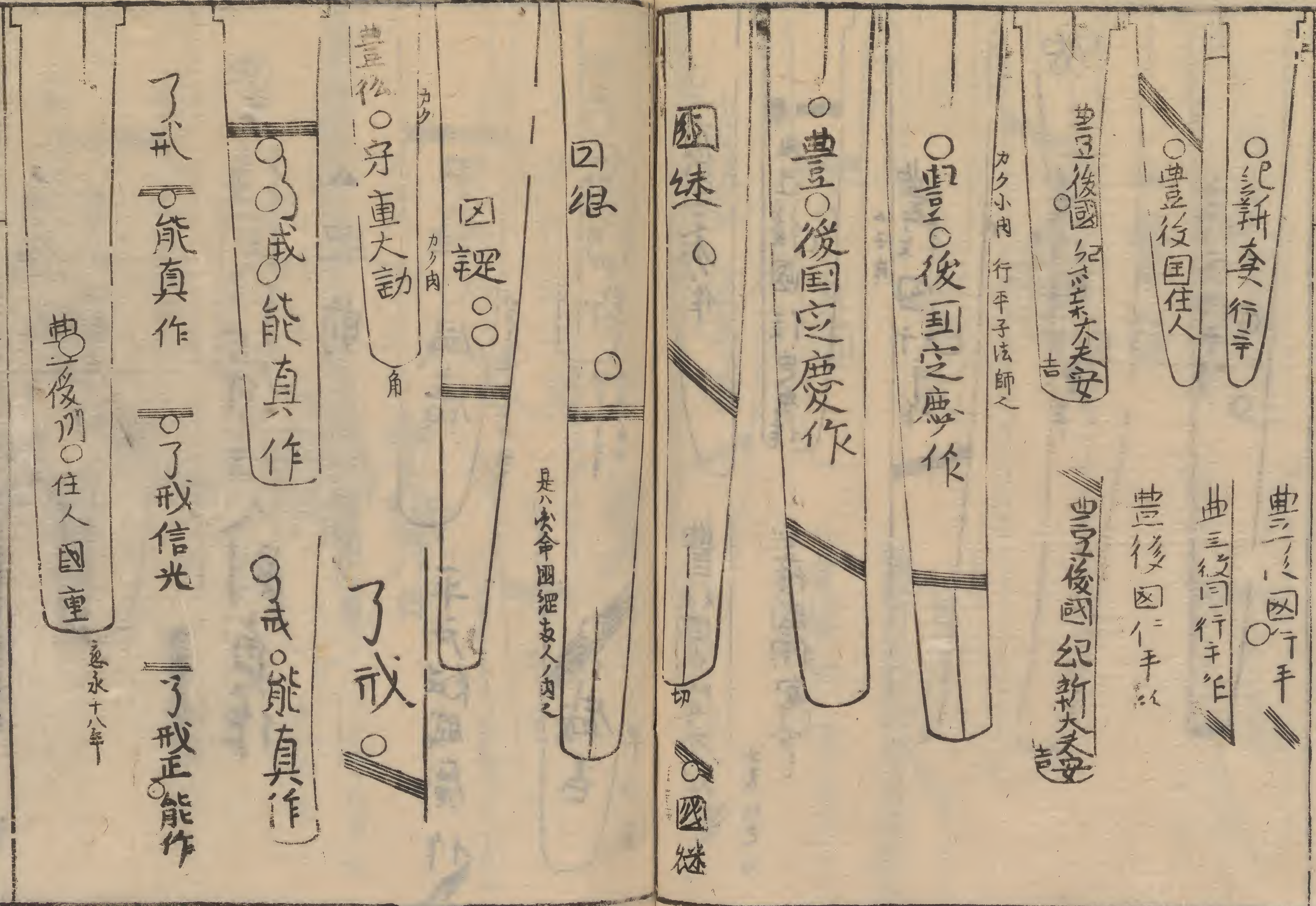
カク
ム子カク
豊前國住幸貞
應徳二季二月日

豊前國了戒守安
寛正二年
スク刄
三原ニ似タリ

信國吉定
小丸文
ニラ田彷彿ホニ似タリ



信國
吉助作
明応二年
吉助
豊後
長円
千秋万歳
長圓
豊後國
定秀作
豊後國
僧定秀
僧定秀
豊後國定秀作
豊後國住定秀作
豊後國行平作
豊後國行平作
豊後國行平作


〇紀新大夫行平
〇豊後国住人
豊後國紀新大夫安吉
豊後〇国行平
豊後国行平作
豊後国仁行平以
豊後國紀新大夫安吉
カク小肉 行平子法師之
〇豊〇後国定慶作
〇豊〇後国定慶作
國継 〇
切
〇國継
国組 〇
国鋌 〇〇
カク肉
是ハ安命国鋌友人ノ肉之
豊後〇守重大勘
カク
角
了戒
〇〇戒〇能真作
了戒 〇
〇了戒〇能真作
了戒
〇能真作
〇了戒信光
了戒正〇能作
豊後州〇住人国重
慶永十八年

カク

明徳二年二月吉日

豊州住國宗作

宝徳三年

豊後国杵築住人則貞作

▲肥前

平戸住盛廣

ウクヒ造スク刃ヤ乱アリ

平戸住盛廣作

平右衛門四郎

ノタレ乱ホウレトカリカヘリフカシ

盛吉

平戸住

応永廿九年八月日

肥前国則末

平戸住宗重

ウクヒ造長刀極床極アリノ名作也

末貞

菊池ノ末後ニ肥後国リウサウ寺ニ住

文明三年八月日

肥州住来秀

光世作

クノソ乱ヤ信国ニ似

肥州住光世作

文字出来冬廣風ノ大ノ名ヲ

○○光世作○

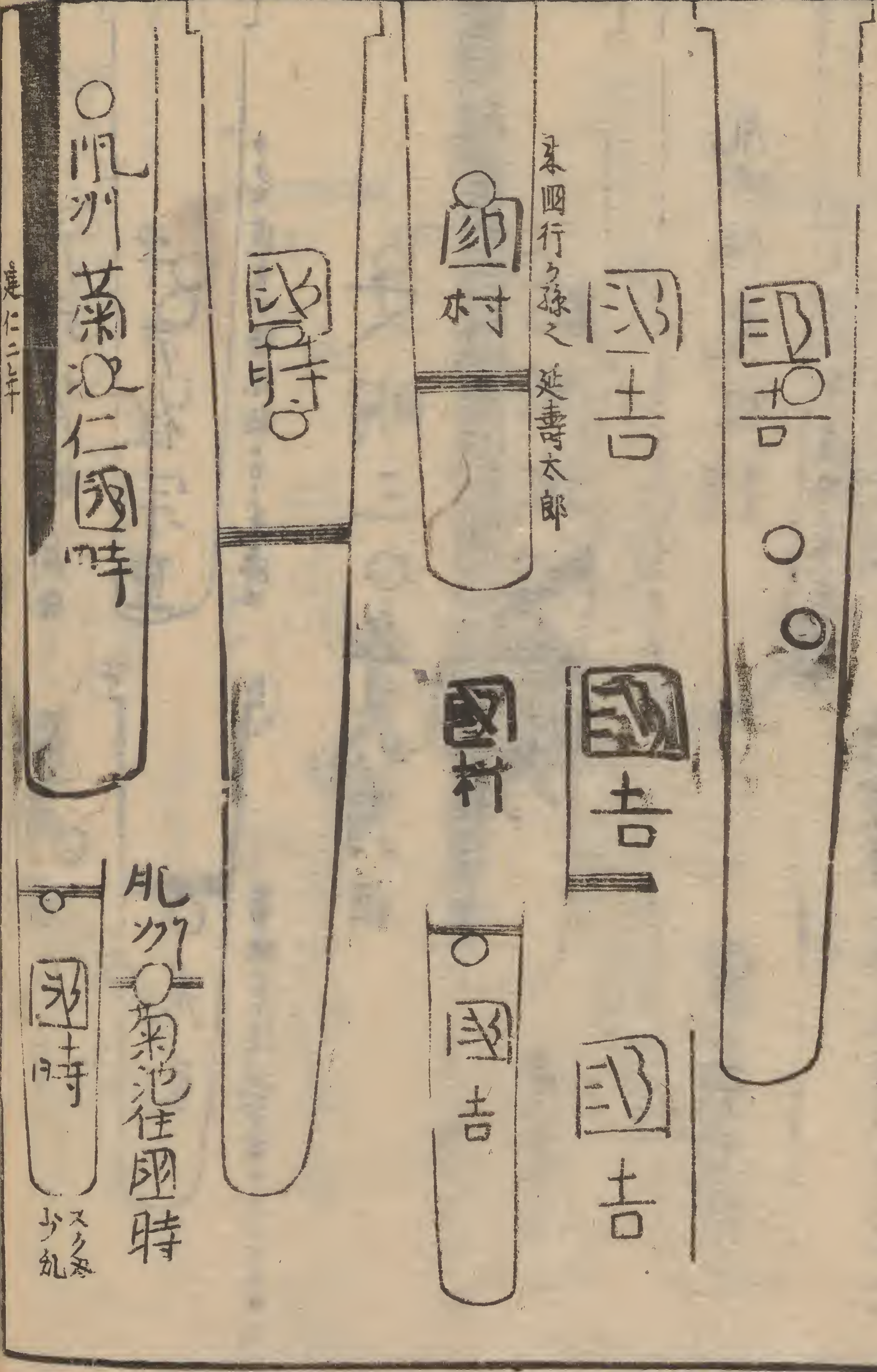
肥后濵崎住重延

筑州有国

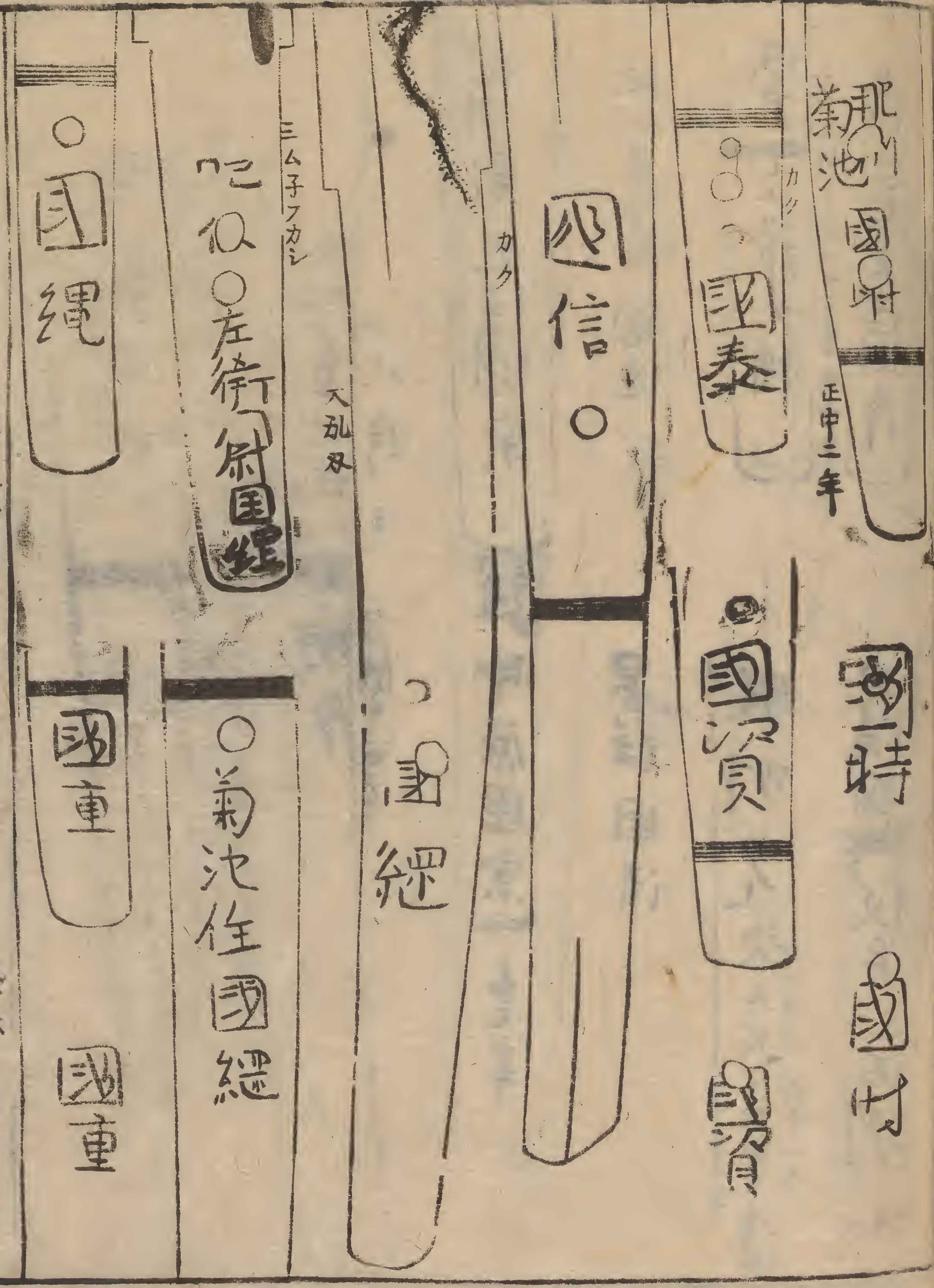
乱刃ホウレニエクツルル

忠ナムクリレリ

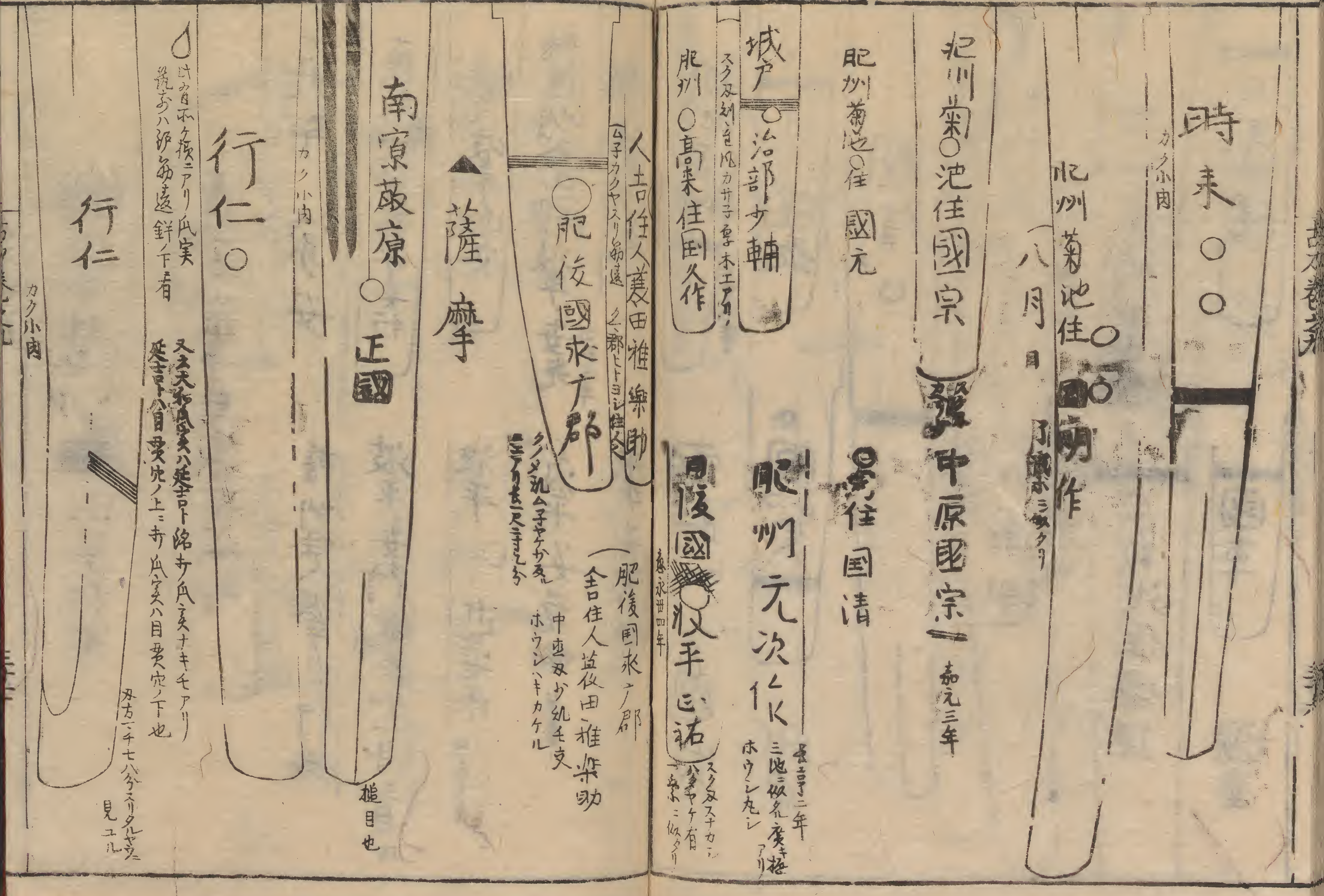
肥後



國吉
國吉
國吉
國吉
来國行ヶ孫之 延壽太郎
國村
國村
國吉
國時
建仁二年
肥州菊池仁國時
國時
肥州
菊池住國時



肥州菊池國時
正中二年
國時
國村
カク
國泰
國資
國資
カク
國信
國經
大乱刃
三ムテフカシ
同似
左衛門尉國經
菊池住國經
國重
國重


時末
カク小肉
肥州菊池住
八月日
肥州菊池住國宗
中原國宗
嘉元三年
肥州菊池住國元
國清
肥州元次作
城戸治部少輔
肥州高来住国久作
肥後國
正祐
人吉住人蓑田椎楽助
肥後國
肥後国
薩摩
南京薮原
正國
行仁
カク小内
行仁
カク小肉

○波平行安

平行安

○薩州谷山波平草家安治郎

カク

○波平家安

薩州住人波平安行

薩州住人波平安行

波平安行 正和二年三月日

○波平近安

波平○近安作

明應十年

○薩州谷山郡波平安光

元弘三年

○波平安光

延慶

波平安久

波平安家

波平安信作

波平安依

波平○安玉

村延○

波平○吉安作

○波平○安一作

薩州○波平○安明

天授二年

波○平安朝

永享

○波平吉光

埜呂井八夕カタレ

波平安世

薩州住重吉作

○石貫○昌國

▲紀伊

○仲真○

入康

カク小肉

入鹿○實経作

親 入鹿實経作

文亀

賀住友衛門丞 子

上 入鹿景實

○八鹿 カク

入鹿

因州住

因州

因州○

因州○

中國

忠也ニ似タ
下ニ沸ル

熊野住天狗造之

小乱刃フチ刃ノ上木工肌
沸アリ下作ナリ

ムチ肉

乱刃

讃岐 伊豫 土佐

カジ ○山蓮 サヌキ

讃州志度庄住藤原季直作

丹波平ニ似タリ

与州住人國吉

与州住安定作

与州住安縣

廣直平ニ小乱交
カヘリサガル

治元年三月日

徳治カ

ウラヒ遣

吉光

▲國不知之分

○應永十二年八

○吉政作 月

揺 廣ク大ノタレ刃元ニテノ乱ノ〆冬廣ク平安保昌ニ似タリ

長長作

長サ二尺三分

明應二年十二月十二日

○從四位左京大夫
源朝臣政則作

廣スクノ刃元ニテクノメ乱
ホウレ大ク丸ク力ヘリ深シ

○五十山周十

沸ノ乱玉モアリ
作不知

桃木光信

○桃光信

眞屋

元成

焼田下見エル
表裏ニ銘アリ

貞○阿

○吉三八

スク刃正目
ホウレ丸シ
作者不知

宜行○

神吉○

明光作

奥州物力

國八郡房○山住永安作

亀元○年八月十二日

昌宗作

ヒタツノ焼田ノコトシ

○秋國

ウソ国

堀江○

宜行

刃北國モノカ波平カ
ヒシコ尾元ニテハナシ

須弐郎恭

森重

忠先刃上ノ栗尻
クノメ乱焼ノコトシ

國縄

ク匕出返り反元無刃月山肌也
忠ム子レヽヤスリ横先細ク角尻

吉重作

竹子返りスク刃

守光

刀ニ先ノ乱タル小多レ要ナ之
加國モノカ

作伯○長以

正英

國長

ヨホト古ク惠毎以ニ見エル
レタラクチル大クタソ
石州カ又ハ恒家カ作者或ハ
甘呂木ニ似タリ

明宗

細ソスク丸
サ入タル乱アリ
落ヶ寸写ヘ似タリ

有國

何不拘トモ二レス
綾田位ニ見エル

國重

イホリ大ニフカクカヘリマカタ
ホウシ上リ廣ソナルスタ[illegible]
未包永又ハ中嶋来ニ似タリ

國經

小切先正目
寸律に

勝利

ニタラク成乱
加國扣カ

古刀銘盡大全巻之九終

後序

むかしぬしの[illegible]宗[illegible]あまりて七剣を
好める[illegible]其名を[illegible]作者氏名
[illegible]名[illegible]氏[illegible]同めて刀劔の道に志
[illegible]数[illegible]日を[illegible]
[illegible]を[illegible]真道
妙術[illegible]人[illegible]て名[illegible]と[illegible]
識るの[illegible]一刀[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]古[illegible]の[illegible]
[illegible]代[illegible]の[illegible]

頃ずりて古刀銘盡と云ふ一巻をつくりて世に出す
凡刀剣の目利するは僅一字千金の一振也これより刃にて
握る志ある者是なん俗にいふ世の人の鉄をも
あまねく天地にひゞかせる者なり然れば
同じ様なる者も何程かありて是を寶となす人は
をしい哉本銘の道に暗き者は自他の迷ひ多く
度々かはるを見る人なく志をたて長く云ふ
云ひ出て世の訛をも正さん事を希ふと爾云

亥仲冬　平安　吉川豊昌題

叙古刀銘盡大全後

蓋刀劔者君子所以討不庭禁暴亂防檢非常衛身禳災其用期于銛利耳然兵凶器也雖紫電白虹流星碎邪之寶亦當藏室以韜光矣世衒鬻價裝以文犀雕以翠緑粉飾嫫母刻畫無鹽又有漫理而干將龍文而鏌

鄒使凡鐵與純鉤同鋒鉛刀與湛盧並鍔歐冶氏訴屈於千載豈不哀邪噫君子禁暴禳災之器安可無辨其真假哉曩時有本阿彌光刹者妙於相刀劍名邑藉甚子孫襲業爲世矜式仰木弘邦從而学之研精數載得之於目而應於心乃作古刀全譜以

示予請叙一言予卒業嘆曰人各有所好或書或画或山水或花竹于詩于酒乃至錢屐鍛冶其他雜碎不可枚挙也已而如弘邦之好世所罕聞實有益於人者也而其所條列呉鉤越劍鄭楚之刀錚々乎簡編自非癖於劍者安得而能之哉嘗聞神靈之

物待識者出此書行千世其必多有
識者則龍泉太阿且暮遇之不復有
雌鳴而憶雄之憾哉
寛政辛亥冬十一月
濃州刺史坂上是村

仰木伊織菅原弘邦著

筆者　蚫井　正宣

彫刻　丹羽庄兵衛

汲古堂藏版目錄

古今銘盡	七巻	古刀銘盡大全	九巻
同大全懐本	三巻	古刀手鏡	一折
銘盡祕傳書	二巻	古刀卽鑑	一折
類字銘盡	一巻	古今名鍛冶角力	一折
古今角力銘盡	一折	同増補韻懐本	一折

寛政四壬子歳正月

江戸本町壹町目　田中汲古齋

皇都書肆　齋藤庄兵衛
勝村治右衛門
今井喜兵衛